

高等教育機関と連携したダイバーシティに関する
講座等企画・運営業務

報告書

高等教育コンソーシアムみえ

目次

1	はじめに	1
2	各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座	
(1)	四日市大学	2
(2)	鈴鹿大学	4
(3)	皇學館大学	5
(4)	三重大学	6
(5)	四日市看護医療大学	8
(6)	三重短期大学	9
3	授業におけるアンケートの結果	
(1)	四日市大学	
①	第1回(7月14日開催)	10
②	第2回(11月13日開催)	15
③	第3回(12月21日開催)	20
(2)	鈴鹿大学	
①	第1回(8月3日開催)	23
②	第2回(1月12日開催)	33
(3)	皇學館大学	
①	第1回・第2回(11月10日、11月17日開催)	36
(4)	三重大学	
①	第1回～第4回(10月13日、10月14日、10月19日開催)	50
②	第6回(1月20日開催)	57
(5)	四日市看護医療大学	
①	第1回(11月2日開催)	64
(6)	三重短期大学	
①	第1回・第2回(8月12日、11月18日開催)	69
4	ダイバーシティ教材	77
5	情報発信	78

1 はじめに

(1) 業務の目的

本業務は、平成 29 年 12 月に三重県が策定した「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」をふまえ、複数の県内高等教育機関においてダイバーシティに関する授業や公開講座等を行うとともに、ダイバーシティ推進に係る教材を作成するなど、ダイバーシティ推進の考えを県内に広めていくものである。

(2) 業務の概要

① 各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座

ダイバーシティについて学ぶ授業・講座を企画・運営し、四日市大学・鈴鹿大学・皇學館大学・三重大学・四日市看護医療大学・三重短期大学の 6 高等教育機関で、オンラインでの実施も含め合計 17 回の授業・講座を実施した。そのうち 1 回は、公開講座として開催した。授業では、三重県のダイバーシティみえ推進方針を紹介し、各回のテーマは、ダイバーシティ推進の考えを県内に広めていくという趣旨に沿うものを実施した。また、受講者に対し、ダイバーシティに関する意識調査アンケートを実施した。

② 情報発信の取組

高等教育コンソーシアムみえのホームページにおいて、本事業に関する情報発信を行った。

2 各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座

(1) 四日市大学

① 第1回

四日市大学 副学長・総合政策学部 小林 慶太郎 教授の授業「マイノリティ政策」において実施した。

日 時：令和2年7月14日（9：10～10：40）

講 師：小林 慶太郎（四日市大学 副学長（教育・学生支援担当）・総合政策学部教授）

内 容：LGBT などのマイノリティに対する社会やマスメディアの扱い方が生み出す様々な問題、課題解決に向けて一人ひとりができること、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：四日市大学生 45 名



② 第2回

四日市大学 副学長・総合政策学部 松井 真理子 教授の授業「人権論」において実施した。

日 時：令和2年11月13日（オンデマンド授業）

講 師：松井 真理子（四日市大学 副学長・総合政策学部教授）

内 容：マイノリティの多様性の尊重が新たな力を生み出す、女性の視点を活かした優れた商品開発「ウーマノミクス」、外国人のための「やさしい日本語」が子どもや高齢者とのコミュニケーションにも生かせる、障害者スポーツはあらゆる人が共に楽しめる、SDGs、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：四日市大学生 170 名

(1) アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

(例)
①性別偏見 → 共通の人とは違う、できない人が多い
②学歴偏見 → 実物でもまだ本質がわからない
③年齢偏見 → 判断力など、さまざまな能力が揃っている
④外国人 → 日本人とはいるいるなことが違う
⑤敬差別部局の出身者 → これまでの歴史から一線の人
⑥女性 → 女性は弱者で、家事・育児に回っている

(3) ダイバーシティ・6つの視点

①違いを知る・伝えること
②交流を増やす
③互いに支え合うこと
④みんなができるという発想
⑤多様かつ柔軟なシステム
⑥違った視点・考え方を力とする

③ 公開講座

日 時：令和2年12月19日（13：30～15：30）

場 所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

講 師：村木 真紀

（認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ理事長）

小林 慶太郎

（四日市大学 副学長（教育・学生支援担当））

内 容：第1部 基調講演

「LGBT 視点から職場と社会を変える」

村木 真紀（認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ理事長）

第2部 討論会

「地方大学から考える LGBT～これからどうする？どう変える？」

村木 真紀（認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ理事長）

小林 慶太郎（四日市大学 副学長（教育・学生支援担当））

受講者：67名（パネリスト除く）



④ 第3回

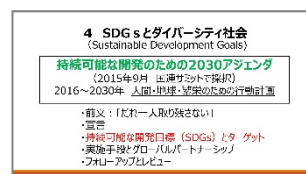
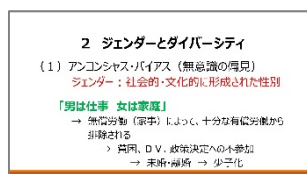
四日市大学 副学長・総合政策学部 松井 真理子 教授の授業「ジェンダー論」において実施した。

日 時：令和2年12月21日（オンデマンド授業）

講 師：松井 真理子（四日市大学 副学長・総合政策学部教授）

内 容：ジェンダーの観点から、ダイバーシティの意義、ダイバーシティ社会と男女共同参画社会の関係、女性の視点を活かした優れた商品開発「ウーマノミクス」、SDGsにおけるジェンダーとダイバーシティ、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：四日市大学生 97名



(2) 鈴鹿大学

① 第1回

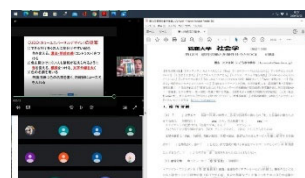
鈴鹿大学 副学長・こども教育学部長 川又 俊則 教授の授業「社会学」において実施した。

日 時：令和2年8月3日（オンデマンド授業）

講 師：川又 俊則（鈴鹿大学 副学長・こども教育学部長 教授）

内 容：色覚に関するカラーユニバーサルデザインの考え方、LGBT、SOGI（性指向、性自認、Sexual Orientation、Gender Identity）、皆が ALLY（性の多様性を理解し支援する人）になれるような社会の実現、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：鈴鹿大学生 109 名



② 第2回

鈴鹿大学 副学長・こども教育学部長 川又 俊則 教授の授業「教職概論」において実施した。

日 時：令和3年1月12日（9：40～11：10）

講 師：川又 俊則（鈴鹿大学 副学長・こども教育学部長 教授）

内 容：学校現場における多様性（性・色覚・障がい・外国につながる子）

LGBT から SOGI へ、色覚の多様性（色の見え方・カラーユニバーサルデザイン）について、インクルーシブ教育の実態や法制度、県内の日本語指導などの事例、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

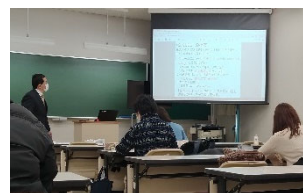
受講者：鈴鹿大学生 12 名

(5) LGBTからSOGIへ

•LGBTは性指向、Iは性自認と異なる位相
→性指向・性自認を「性の多様性」と表現する語に

SOGI(=ソジ、性指向・性自認、
Sexual Orientation、Gender Identity
(あるいは性表現、Expressionを加えた
SOGIE) が提唱されてきている。

• ALLY(アライ=支援者・理解者)になるために・・・



(3) 皇學館大学

① 第1回

皇學館大学 教育学部 深草 正博 教授の授業「日本伝統文化教育論」において実施した。

日 時：令和2年11月10日（11：10～12：40）

講 師：深草 正博（皇學館大学 教育学部 教授）

内 容：人類の歴史と文化のダイバーシティ、多様性の尊重と他者理解の推進であるグローバル化、日本の地域における多様な文化・風習・方言、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：皇學館大学生 217 名



② 第2回

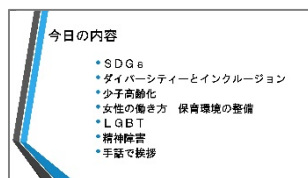
皇學館大学 教育学部 深草 正博 教授の授業「日本伝統文化教育論」において実施した。

日 時：令和2年11月17日（11：10～12：40）

講 師：南 泰代（花園大学 非常勤講師）

内 容：SDGs、ダイバーシティとインクルージョン、女性の社会進出に必要不可欠な環境の整備、少子高齢化に伴う外国人就労者の増加、非正規雇用枠増加による貧困家庭の増加、LGBT、精神障害

受講者：皇學館大学生 250 名



(4) 三重大学

① 第1回・第2回・第3回・第4回

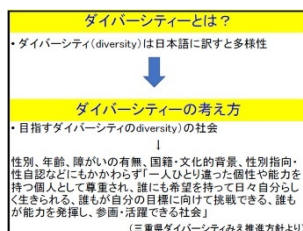
三重大学 人文学部 谷口 智雅 特任教授の授業「環境地理学 C」、「環境地理学 B」、「環境地理学 A」、「自然環境論 B」において実施した。

日 時：「環境地理学 C」令和2年10月13日（オンライン授業 14：40～16：10）
「環境地理学 B」令和2年10月14日（オンライン授業 10：30～12：00）
「環境地理学 A」令和2年10月19日（オンライン授業 13：00～14：30）
「自然環境論 B」令和2年10月19日（オンライン授業 14：40～16：10）

講 師：谷口 智雅（三重大学 人文学部 特任教授）

内 容：アジアの大都市における水環境と生物の多様性、多様な生活空間を創造するために個々がすべきこと、ESD（持続可能な発展のための教育）、SDGs（持続可能な開発目標）、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：「環境地理学 C」三重大学生 8名 「環境地理学 A」三重大学生 9名
「環境地理学 B」三重大学生 46名 「自然環境論 B」三重大学生 19名



② 第5回

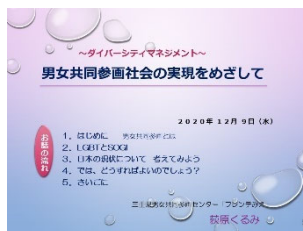
三重大学 人文学部 谷口 智雅 特任教授の授業「環境地理学 B」において実施した。

日 時：令和2年12月9日（オンライン授業 10：30～12：00）

講 師：荻原 くるみ（三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 所長）

内 容：LGBT への理解、SOGI（ソギ/ソジ）性の多様性等、女性の社会進出の状況や日本における実態、男女の格差問題、これからの日本が増々直面する超高齢化社会に対する様々な問題点、フレンテみえの紹介

受講者：三重大学生 42名



③ 第6回

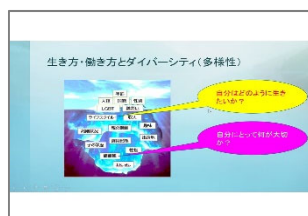
三重大学 人文学部 谷口 智雅 特任教授の授業「環境地理学 B」において実施した。

日 時：令和3年1月20日（オンライン授業 10：30～12：00）

講 師：田中 貢（高等教育コンソーシアムみえ 地域活性化推進コーディネーター）

内 容：日本の人口減少や少子高齢化に伴う女性活躍の状況、女性の活躍推進（管理職や役員への積極的登用）に欠かすことができない本人の意識向上の必要性、グローバル人材の活躍と異文化交流の重要性、ダイバーシティとキャリアデザイン

受講者：三重大学生 41 名



(5) 四日市看護医療大学

① 第1回

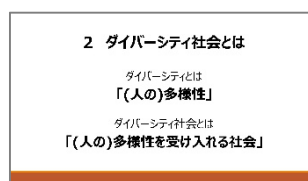
四日市看護医療大学 非常勤講師 松井 真理子 四日市大学 副学長・教授の授業「ジェンダー論」において実施した。

日 時：令和2年11月2日（オンデマンド授業）

講 師：松井 真理子（四日市看護医療大学 非常勤講師、四日市大学 副学長・総合政策学部教授）

内 容：ジェンダーの観点からのダイバーシティの意義、ダイバーシティ社会と男女共同参画社会の関係、女性の活躍が経済発展においてきわめて重要な役割を果たしている「ウーマノミクス」、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：四日市看護医療大学生 84 名



(6) 三重短期大学

① 第1回

三重短期大学 生活科学科 長友 薫輝 教授の授業「社会福祉論Ⅰ」において実施した。

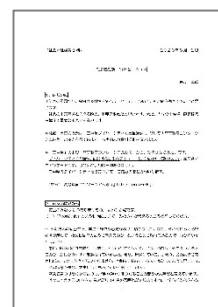
日付：令和2年8月12日（オンデマンド授業）

講師：長友 薫輝（三重短期大学 生活科学科 教授）

内容：ダイバーシティみえ推進方針「考えを変える」

「行動を変える」「仕組みを変える」について、多様性を反映する社会づくり、多様性が反映される制度や仕組みのデザイン、マイノリティの基準や価値判断の軸、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：71名



② 第2回

三重短期大学 生活科学科 長友 薫輝 教授の授業「社会保障論Ⅱ」において実施した。

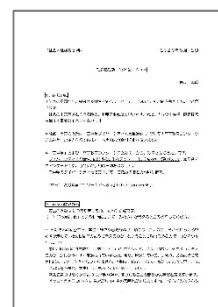
日付：令和2年11月18日（オンデマンド授業）

講師：長友 薫輝（三重短期大学 生活科学科 教授）

内容：「感染症と多様性」、他人と違った行動を取る

感染症対策、同調圧力が強い社会からの転換、多様性が発揮される社会の形成、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取組

受講者：27名



3 授業におけるアンケートの結果

【アンケートの概要】

各高等教育機関における授業に出席した学生に、ダイバーシティの理解度やダイバーシティ社会に対する意識について質問するアンケートを実施した。

※構成比の合計は小数点以下第4位を四捨五入しているため、必ずしも100%にならない。

(1) 四日市大学

① 第1回（7月14日開催）

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

45件の回答

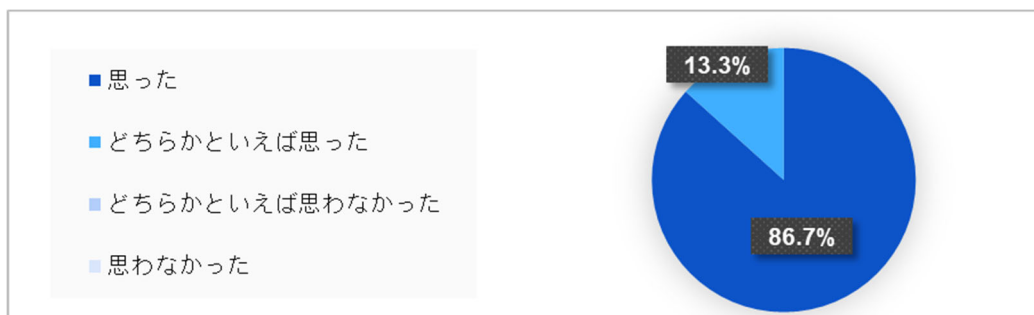
深まった	27	60.0%
どちらかといえば深まった	18	40.0%
どちらかといえば深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にされた行動）をしていこうと思われましたか？

45件の回答

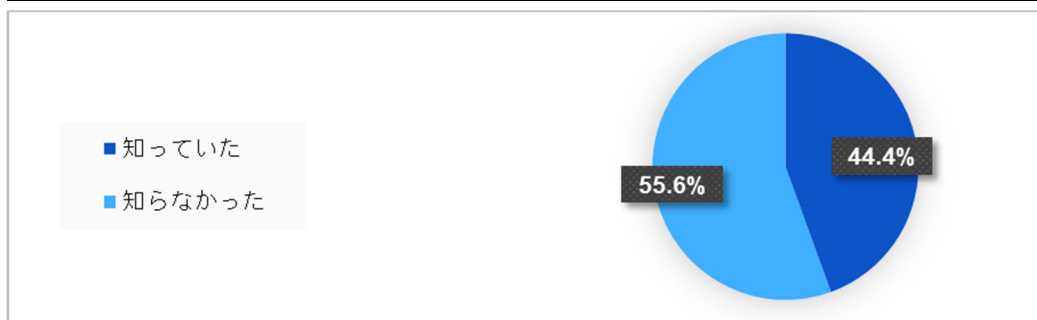
思った	39	86.7%
どちらかといえば思った	6	13.3%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

45 件の回答

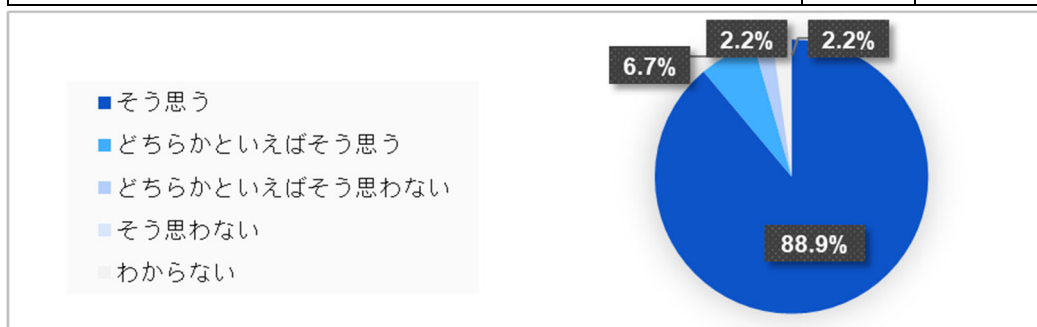
知っていた	20	44.4%
知らなかった	25	55.6%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

45 件の回答

そう思う	40	88.9%
どちらかといえばそう思う	3	6.7%
どちらかといえばそう思わない	1	2.2%
そう思わない	0	0.0%
わからない	1	2.2%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

偏見や先入観というのがどの場合でも必要ないと思っているので、これをなくすことで周りからの目を気にせずに社会活動ができると思います。

知り、認め合っていくことです。

助け合い。

何を言ったら、相手が喜ぶ、悲しむというのを考えて行動することが大切だと思った。物事を客観的に見ることで相手にも自分にも悪い思いは減っていくと思う。

たくさんの人の理解が必要だと思いました。

思いやりの気持ち。

時間。

中・高学生など若いうちから知ってもらうことや、新聞やテレビニュースなどを使い多くの人に知ってもらうこと。

様々な人を呼んで会議（討論）をかさねて、深く掘り下げていくべき。

多くの人がこのダイバーシティ社会の計画を知り、賛同すること。偏見を無くし、自分の個性や本当にやりたいことを自由に発信できる社会になればいいと思う。

交流会や講演会などを県や自治体が主体となって開催すると良いと思った。

アンコンシャス・バイアスへの対処の具体的な案。

世界には色々な人がいるということを1人1人が理解する。いつか世間の目を気にせずに暮らせるような社会になったら良いと思う。

まず違いを知り、みんな違ってみんな良いという考え方・とらえ方に思考を変換することが大切で必要だと思いました。

人どうしの協調性。

差別をなくすこと。

みんなの理解と協力が必要だと思った。

協力。

多数派の心がけが必要。

他人に対する尊重。

互いの理解が大切で、必要だと思いました。

人と人や、社会と社会の中にある格差をしない。

意識改革が必要だと思う。そのために、少数派の人達に対するネガティブなイメージ、例えば黒人＝暴力というイメージではなく黒人＝親切で思いやりのある人というポジティブなイメージが広がるような広報活動を推進すべきだと思った。

少数派でも話しやすい環境。少数派であるからという理由でいじめや迫害を受けた人の傷をいやすための措置。

ダイバーシティの取り組みを知ってもらうこと。

「多様性」を尊重し、偏見をなくすことが必要。

いろんなダイバーシティの人たち同士で話しあう。

いろんな人が活躍できる社会をつくる。

もっと幅広い世代に認知されるようにするべきだと思う。

大衆の意識の変革。

アンコンシャス・バイアスを無くすこと。

宗教や人種など関係なく話し合えるように社会の空気を変えることが必要だと思います。

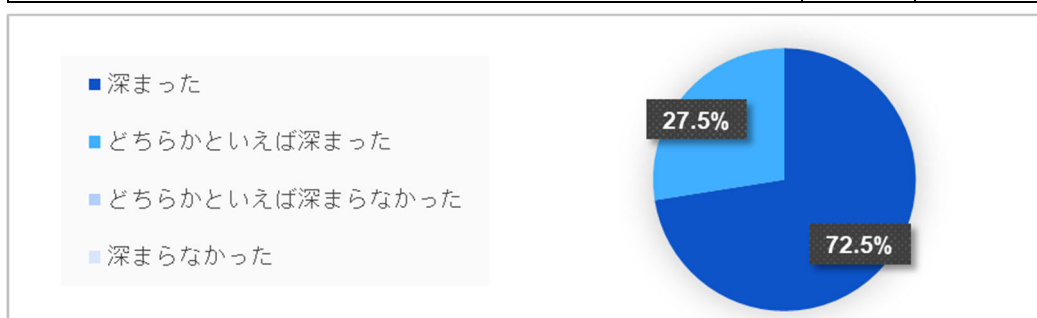
多様性について多くの人につたえる、またコロナによって働き方が変わっているのでICTを活用することが大切だと思います。

② 第2回 (11月13日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

40件の回答

深まった	29	72.5%
どちらかといえば深まった	11	27.5%
どちらかといえば深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動(人の多様性を大切にした行動)をしていこうと思いましたか？

40件の回答

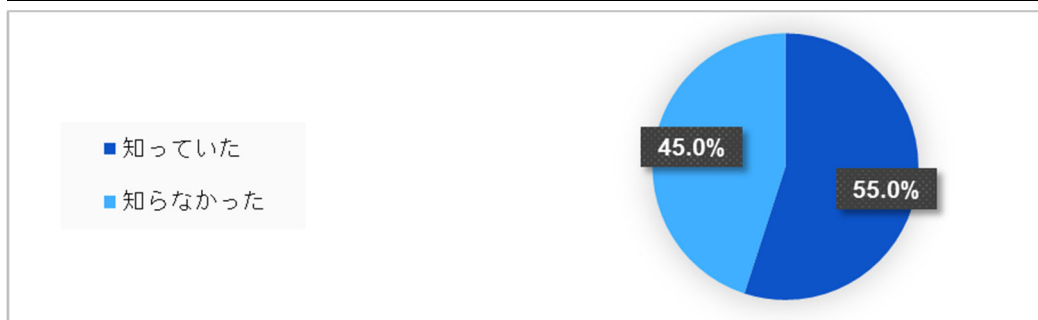
思った	28	70.0%
どちらかといえば思った	11	27.5%
どちらかといえば思わなかった	1	2.5%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

40件の回答

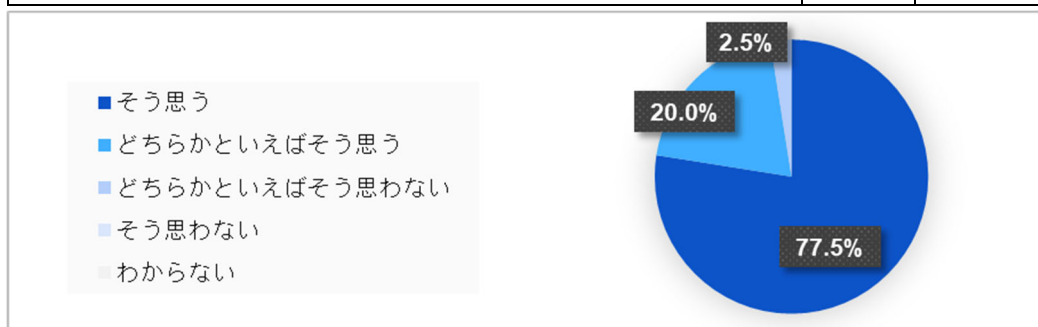
知っていた	22	55.0%
知らなかった	18	45.0%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

40件の回答

そう思う	31	77.5%
どちらかといえばそう思う	8	20.0%
どちらかといえばそう思わない	1	2.5%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

みんなの協力

情報を共有できる場やコミュニケーションを取れる場を作る

多様な条件の人の意見を聞くこと。

他人とは違うことを受け入れる姿勢

一人ひとりの意識を変えていくことが必要。そのためにはマスメディアなどを使って、より多くの人にダイバーシティ社会の重要を知ってもらうことが良いと思う。

能力の違いを認め合うこと

差別をなくす

ダイバーシティについてのセミナーなどの学ぶ機会を増やすことが必要だと思う。特に義務教育の段階で導入することで、意識を浸透させることが重要だと感じる。教育に限らず、公共で話し合いの場を設けていき、アンコンシャスバイアスを無くしていくことが、ダイバーシティ社会の実現につながると思う。

全ての人は1人ひとり違うのだから理解して受け入れていくことが大切ではないかと思いました

せいかつしている中でダイバーシティという言葉あまり聞かないし大切な言葉なので日常的に聴けるようにする。

一人一人に多様性に関することを意識してもらうこと。

1人1人が多様性を受け入れる事

広い世界を学ぶこと。

義務教育へ「ダイバーシティ社会」についての学習を取り入れる

ちゃんとした知識を身に着けること。

どんな人の考え方や思いも受け入れる心のゆとりを持つことが必要というより大切なことだと思う。

思いやりを持つこと

皆んなに知識の認識が大事だと思います。

自分に都合の良い考え、無意識の偏見を無くす

政府主導でダイバーシティ推進すれば多くの人に広まると思う

互いを理解し合い認め合うのがダイバーシティ社会を実現するために必要だと思います。

多様性を容認出来る社会づくり

ダイバーシティ社会という言葉の理解

他者を重んじる心です。

今年の7月にも話を窺ったので2回目の聴講になる。

私は実現のために次の2つが大切だと考える。

- ①互いに支えあうこと
- ②多様かつ柔軟になること

この2つが出来るようになることがダイバーシティ社会への第一歩だと思う。

一人一人が、様々な自分と違う人間がいるんだと理解し、それを受け入れること。

まずは相手を知ること、そしてその為の機会を設ける必要があると思います。
例として私の通っている大学では留学生との交流を深める為の交流研修旅行が予定されています。普段の日常では話しかけづらく、このような行事は一種のきっかけになると考えています。

社会内でも、このようになんらかの機会があれば、交流を深め相手を知るきっかけになるのではないかと思います。

実現するにはどうすればいいかあまりわからなかったので実例などを挙げて頂ければ分かりやすかったです。

お互いに理解しあうこと

せいかつしている中でダイバーシティという言葉あまり聞かないし大切な言葉なので日常的に聴けるようにする。

③ 第3回 (12月21日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

16件の回答

深まった	6	37.5%
どちらかといえば深まった	9	56.3%
どちらかといえば深まらなかった	1	6.3%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動(人の多様性を大切にした行動)をしようと思いましたか？

16件の回答

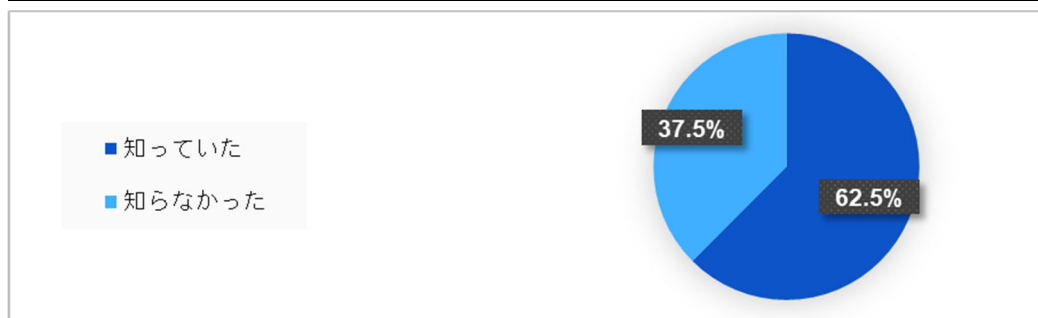
思った	9	56.3%
どちらかといえば思った	7	43.8%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

16件の回答

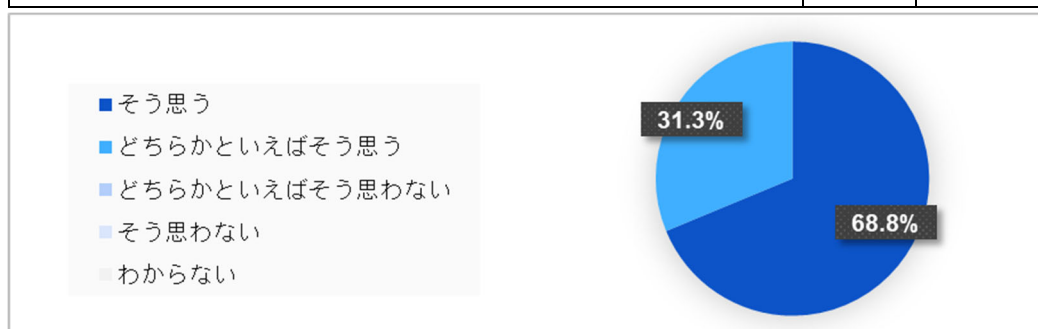
知っていた	10	62.5%
知らなかった	6	37.5%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

16件の回答

そう思う	11	68.8%
どちらかといえばそう思う	5	31.3%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

個人の積極的な取り組みが必要だと思う。

メディアなどを活用し、より多くの人にダイバーシティについて知ってもらうこと。

誰もが住みやすい世の中を作り、尊重し合える心が必要

差別のない世界にする

個人の意識の向上

自分が絶対に正しいとは思はないことだと思います

何かをするときは、自分の考えと判断力が必要です。

多様性

多様性が必要だと思います。

多種多様な人々への社会保障

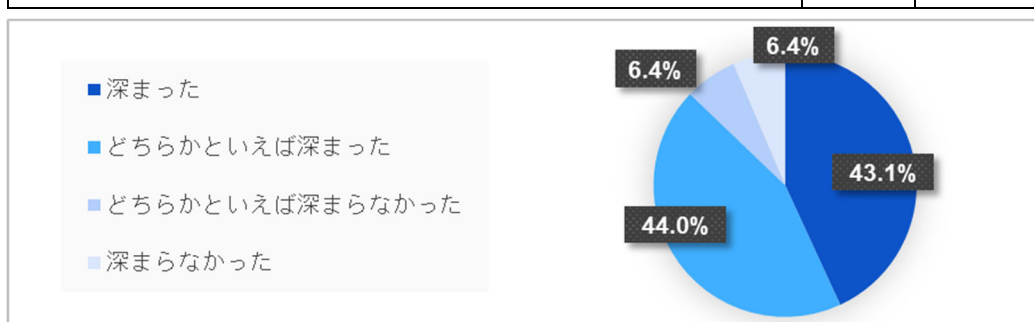
(2) 鈴鹿大学

① 第1回 (8月3日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

109件の回答

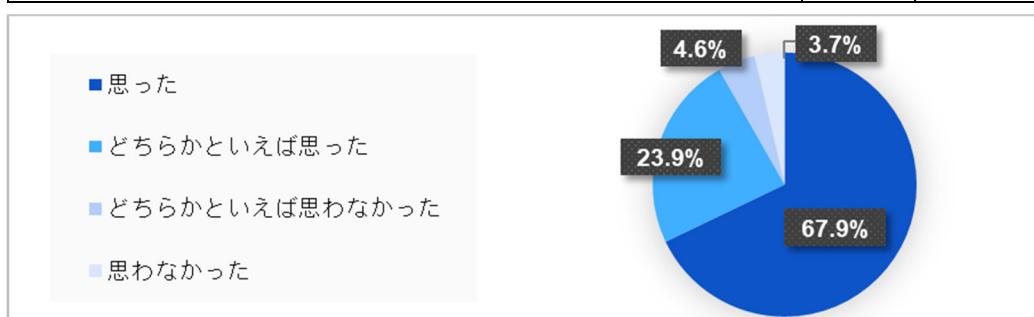
深まった	47	43.1%
どちらかといえば深まった	48	44.0%
どちらかといえば深まらなかった	7	6.4%
深まらなかった	7	6.4%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動 (人の多様性を大切にされた行動) をしていこうと思いましたか？

109件の回答

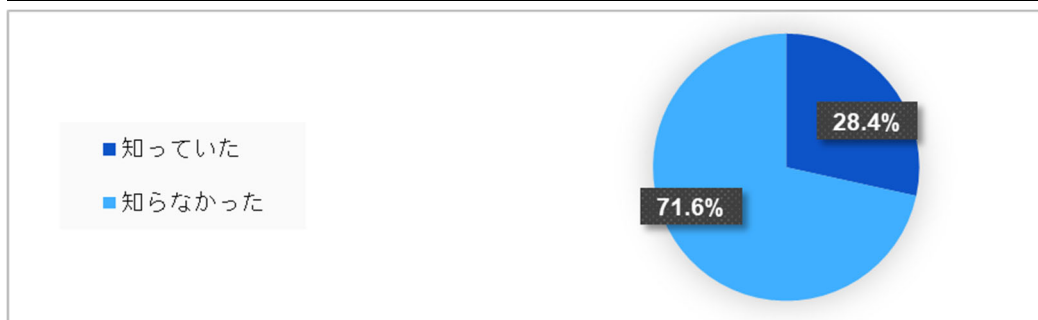
思った	74	67.9%
どちらかといえば思った	26	23.9%
どちらかといえば思わなかった	5	4.6%
思わなかった	4	3.7%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

109件の回答

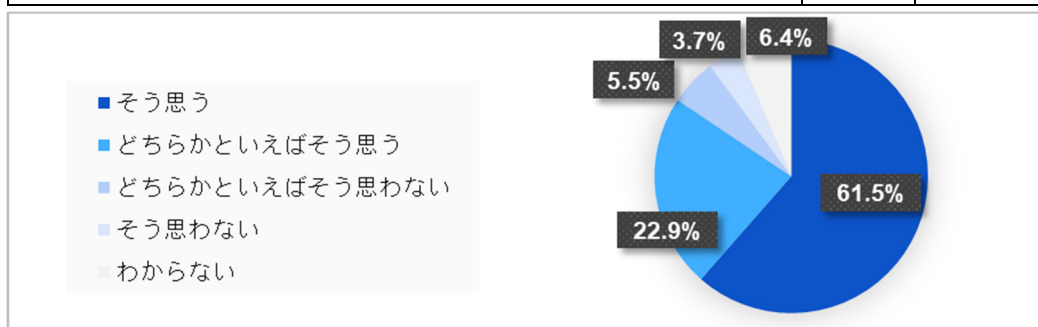
知っていた	31	28.4%
知らなかった	78	71.6%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

109件の回答

そう思う	67	61.5%
どちらかといえばそう思う	25	22.9%
どちらかといえばそう思わない	6	5.5%
そう思わない	4	3.7%
わからない	7	6.4%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。自由に記述してください。

個人化の存在をサポートします。異色の生き方を許す。外国の優れた文化を受け入れ、海外の優れた文化を参考にする。自身特有の文化的伝統を保持する。

一人一人の個性や能力を否定しないことが必要だと思います。

バリアフリーな世界観で、どの人も平等だということが大切です。人権を重視して、持って生まれた命の尊さを知って欲しいです。

社会科学における多様性とは、共通の文明または社会の枠組みの中で、独自の伝統文化または異なる人種、民族グループ、宗教、または社会グループの利益への継続的かつ独立した参加と発展を指します。多元社会では、異なる民族グループがお互いに尊敬と寛容を示し、紛争や同化なしに平和に共存できます。多様性は現代社会の最も重要な特性の1つであり、科学、社会、経済の発展の主要な原動力でも多くの人々が信じています。

多様性。PCの字体でもUDデザインがあるように、当事者になってみないとわからないことは多数あると思います。そして、自分がいつその立場になるか誰もわかりません。それを踏まえ、全国民が住みやすい社会を築くことが大切だと思います。

文化の多元化は社会の現実であり、それは私達の主観的な願望が勝手に変えられないので、存在するいかなるものにも合理性があり、それを支える道理があります。世界の一体化は文化の多元化をはっきりと見せてくれます。理性だけが統一の根源を見つけられます。

意見の異なるひとの話を傾聴できる耳

近い将来、学校教育に迅速に取り入れるべき

例えば、会社で障害者のかたを雇うにあたって、その方たちが働きやすい環境作りが1番大切だと思うので、負担にならないような仕事の割り振りを考えておくこと。周りの人みんなが偏見をもたないような指導が必要だと思います。

一人一人が、性別や年齢、障害の有無、国籍、性的指向・性自認があり人それぞれ違いがあることや、自分と同じではない人もいることを理解とともに認識することが大事だと思います。

まず認知されることが必要だと思います。馴染みのない言葉のため、説明されるまで何のことが分かりませんでした。ユニバーサルデザインのように、もっと身近に感じられるような表示などと一緒に取り入れて行かれては、と思います。

まず、社会のインクルージョンを実現する必要だと思います。

科学、社会、経済などの発展を促進し、人々も互いに認識しなければならない。理解し合う

コミュニケーションを取る必要があります。

社会における企業の信用を向上させることが必要だと思いました。

多様な人達の存在を知り、個人の概念を見直しアンコンシャスバイアスを乗り越える事。

沢山の人のダイバーシティについて認知してもらう事が必要だと考えます。

だいじょぶ

違った目線で物事を考えたり、多様性を大切にしたりして行動すること。

まずは、ダイバーシティという言葉の意味をもっと世界の人に伝えることが必要だと思います。

ダイバーシティという言葉をまず広げるところから

社会における企業の信用を向上させること。

SDG'S の活動をもっと活発化させていく。まず、その取り組みそのものを、多くの人に知ってもらう。

女性管理職の活用や障害者雇用の拡大を積極的に行うことで、社会における企業の信用を向上させることが必要だともう。

ひとりひとりが心無い言葉を言ったり誹謗中傷をしたりせず、気をつけあって生きていければ自然とダイバーシティの実現が可能なのではないかと思いました。

言語で日本語、英語、中国語、韓国語だけではなく、スペイン語、フランス語、タイ語などと言った多様な他語学を話したり、文字を表示することによって、喜んでくれる外国人の方々が喜んでくれると思います。

多様性を生かす文化

違いを互いに受け入れること

多様性は新しいアイデアや経験をもたらし、人々はお互いから学ぶことができます。さまざまなアイデアや視点を取り入れることで、問題をより適切に解決することができます。多様なチームで働くことで、対話が開かれ、創造性が促進されます。多様性の価値は、私たちの文化にも当てはまります。

すべての人の思想を必要として、社会の多様性に対応しています。伝統的な社会文化に限ったことではありません。

自分のこと自分できる

平等な社会

可能であれば子供より保護者などこう言った事の理解を深める為の取り組みが必要だと思います。

多様性は新しいアイデアや経験をもたらし、人々はお互いから学ぶことができます。さまざまなアイデアや視点を取り入れることで、問題解決が向上します。多様なチームで働くことは、対話を開き、創造性を促進します。多様性の価値は私たちの文化にも当てはまります。

一人一人が多様性を受け入れること。

1人1人の差別への認識と気持ちの変化

自分より他の人の立場を考えておくこと。

まず自分が知らないことを知ろうとする姿勢をそれぞれの人たちがとることが必要なのではないかと思います。

ダイバーシティ社会を実現するためには多様性の受容であり、新たな発想、イノベーション(変革)の源泉です。ダイバーシティを進める上で、無意識のうちに偏ったモノの見方をしてしまうこと(アンコンシャス・バイアス)に気づくことが重要です。

どんな人のことも否定するのではなくその人について理解していくことが必要だと思いました。

固定概念を無くすこと

差別教育の強化または法律をだす

多様な人材として採用した人の一人一人の個性を尊重することが必要だと思います

もう人のことなんて気にせず生きる。

有利不利をなくす

偏見を持ってしまうのは仕方がないが自分の世界や考え方を強要や押し付けないことだと思う。

世界みんながダイバーシティについて理解することが大事だと思う

皆が差別などをしない考えが必要だと思います。

ダイバーシティ会社に必要なものは寛容だと思います。原則を守ったままだけではなく、調和と統合をもたらすためにさまざまなことを理解して受け入れる必要があります。そこから、社会はより多様になります。

ダイバーシティ社会を実現するためには、国家が人材の育成に力を入れる必要があります。教育、商業、各環境と各制度の前でいっそう重視しなければならない。

一人一人の意識

お互いの交流が一番大事なことだと思います。この人は良いか悪いかは見た目だけではなく、相手とコミュニケーションする時に、相手のことが理解できるだろう。

思いやりなどが大事だと思います

今まで以上に一人一人を尊重して思いやる必要があります。

自分や他人、一人ひとりが他の人とは違う。自分はこれでいいという自身が必要だと思いました。

LGBT 結婚の合法化

人は自分と同じ価値観、同じ考えではないということを思い、認め合うことが必要。

例えば、教育の現場において長所と短所を生徒に書かせ特に短所を様々見方を変えて長所と繋げるという活動を行う必要があると感じます。

私たちは自分でダイバーシティ視点を持つことは必要だと思います。無意識の偏見があることに会う時は、それを変えるために努力します。法律と政策も大切だと思います。また、ダイバーシティ社会を実現するためには、企業の行動も重要だと思います。人材を採用時、無意識の偏見を捨てるべきです。

都心のコンビニ定員の多くは外国人労働者であり、彼らの多くは私費留学生であると聞いたことがあります。経営者からは留学生は日本人よりよく働くという声もあるようで、真面目に働く外国人の需要は高いと考えます。しかし、彼らには週 28 時間以上の労働は原則認められていません。このように需要があるのに関わらず、制度上の障壁があるという現状があります。外国人が、日本人と同様に働ける制度改革が必要であると考えます。

国籍の違う人や信仰している宗教が違う人に誰もが気軽に触れ合える機会や場所を作ることが必要だと思います。なぜなら実際に会ってみることで、自分の今までの考え方が変わったり、ダイバーシティ社会が他人事ではなくなると思うからです。

ダイバーシティに関しての説明やイベントなどをして理解を深めてもらい世の中の様々な人に知ってもらうべきだと思う。

ダイバーシティ社会を実現するためにはこの取り組みを多くの人に知ってもらう必要があると思います。私はこの授業で知ることができたので、学校などで勉強したり、講演会などを開いていくのがいいと思いました。知ることでも自分も相手も安心して生活できるのかなと思いました。

もっと人が当たり前知っている常識のように認知され、理解されるところから始めるべきだと思います。インターネットが珍しかった時代から当たり前の時代になったようにそれがなにもおかしくないと思え続けることが大切だと思います。

人々が協力し合うという心を持つこと

広く考える

個人の能力を発揮できるようになる事が重要だと感じます。年齢、性別に関係なく、年下でも年上の人よりも能力や人をまとめる力があればそれは評価されるべきだと思います。まずは、上下関係や男女差別を無くすことがダイバーシティ社会の実現に繋がるのではないかと感じます。

まずは、差別・偏見を無くさなければダイバーシティ社会を実現する事は難しいと思います。

挨拶をする

周りの理解が必要だと思います。

1人1人の差別への認識と気持ちの変化

生物学的遺伝子だけでなく社会的影響も同時に人間の行動に影響を与えます。各要因の重要性は研究者の見方によって異なります。社会生物学者は進化の結果としての社会的行動を説明しようとしています。彼らは同性愛者の病気、気質などの行動は本質的に生物学的であると信じていますが、社会学者は一般にほとんどの人間の行動は社会の影響を受けていると信じています。、そして社会化の結果です。

三重県のめざすダイバーシティ社会は『一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、参画・活躍できる社会』である。これを読み私は、ダイバーシティ社会を実現するためには、「普通」の考え方を変える必要があると考える。「普通」の考え方を変えるために必要なことは2つある。

1 つめは、他者との違いを受け入れるためである。まず『一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重』するということは、違いを認め合う・受け入れあうことだといえる。性別、年齢、障がい、国籍など、どの方向からでも相手のことを否定しては、多様性を受容していないことになる。自分と違う部分があることや、考え方が違うことに対して未知のものに対する不安を感じることは仕方ないのかもしれない。相手が少数派であればあるほど、自分を信じ、相手を否定することで、安心を手に入れようとしてしまう。そうすれば自分としては楽だと思いが、相手を深く傷つけてしまう。不安ではあると思うが、一度違いを認めることをすると、不安はなくなり、新たな考えを持つこともできる。違いを認め、新たな考えを持つことにより、今までの偏見のある「普通」の考えを変えることができるだろう。

2 つめは、昔からの意見に流されないことである。伝統や歴史は大切であるため、受け継ぎ、残さなければいけないものである。しかし、差別的・偏見的な考えや思い込みや受け継がなくてもよいものである。例えば「仕事は男性、家事は女性」は昔から今まで長くある偏見である。昔はそもそも学校は男子だけであったり、技術の授業は男子で家庭の授業は女子が学んでいたこともあった。しかし、現代の教育はそうではない。学校は男女ともに通い、技術の授業も家庭の授業も男女混交で行う。授業を通して家庭をすることが好きになった男子もいるだろう。また、仕事も昔に比べ共働きの家庭が増えてきている。このように社会や教育が変化しているのに、偏見や考えは変化させないことはおかしい。昔から大切に残すべきものと、社会の変化に合わせて昔と変わるべきものを正しく判断していくことが「普通」の考え方を変えるために必要だろう。

これらのことが、「普通」の考え方を変えるために必要なことだと考えた。「普通」「あたりまえ」の標準的なものがなくなったり、変化することは不安はあるだろう。私自身も多数派いることに安心を感じるため、今までの「普通」がそうでなくなることは不安である。しかし、差別や偏見をなくすためには重要になると感じるため、この授業を通して、自分の考えもあらためていきたいと思う。

② 第2回 (1月12日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

11件の回答

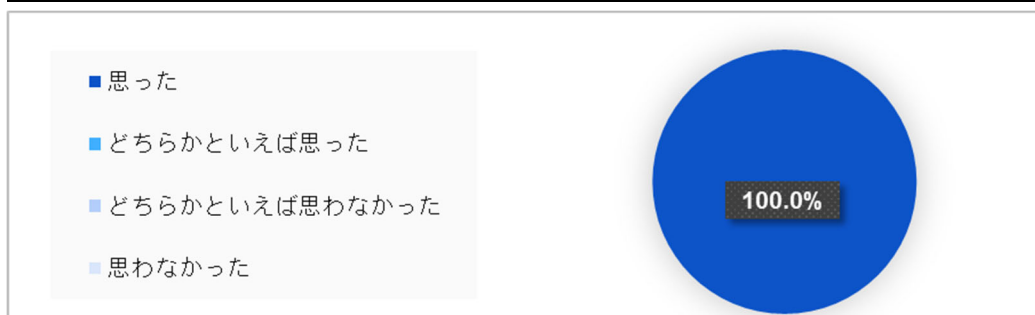
深まった	9	81.8%
どちらかといえば深まった	2	18.2%
どちらかといえば深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動(人の多様性を大切にした行動)をしようと思いましたか？

11件の回答

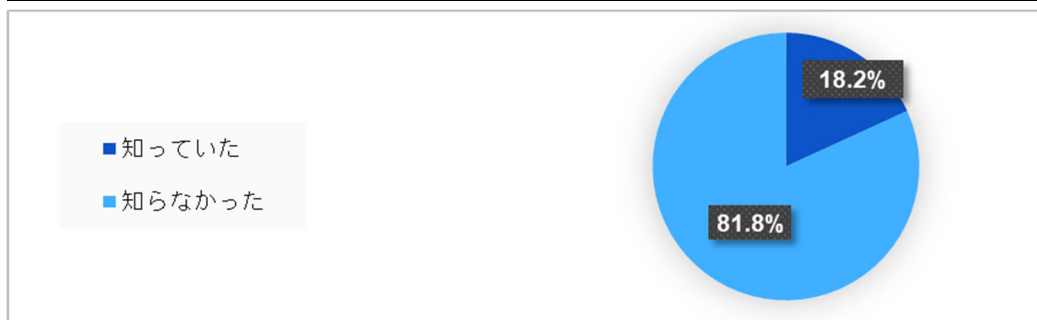
思った	11	100.0%
どちらかといえば思った	0	0.0%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

11件の回答

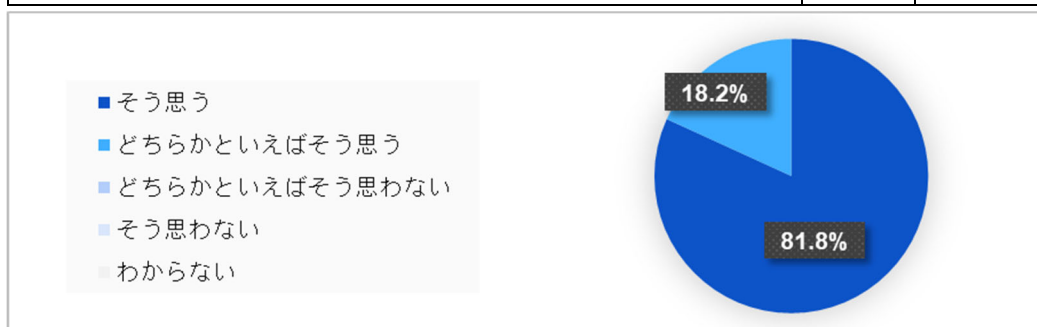
知っていた	2	18.2%
知らなかった	9	81.8%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

11件の回答

そう思う	9	81.8%
どちらかといえばそう思う	2	18.2%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

一人一人が考え方を変えていく必要があると思いました。

一人一人の考え方の尊重と、見た目での判断と偏見を無くす。

一人一人の気持ち

他人のことを理解しようとし、考えようとする姿勢が必要であると思います。

決めつけたバイアスを無くし、マイノリティの方への配慮の気持ちを一人一人が大切にすることが必要であると感じました。

その相手に合った言葉選びが必要だと感じます。

寛容性

(3) 皇學館大学

① 第1回・第2回（11月10日、11月17日開催）

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

217件の回答

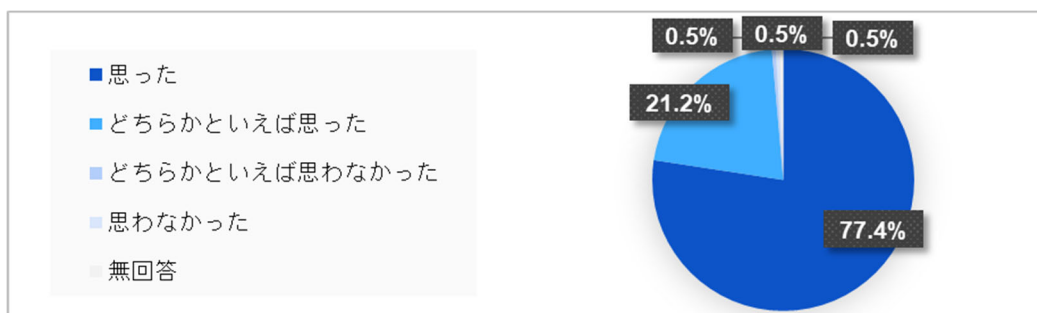
深まった	120	55.3%
どちらかといえば深まった	85	39.2%
どちらかといえば深まらなかった	10	4.6%
深まらなかった	0	0.0%
無回答	2	0.9%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にしたい行動）をしようと思いましたか？

217件の回答

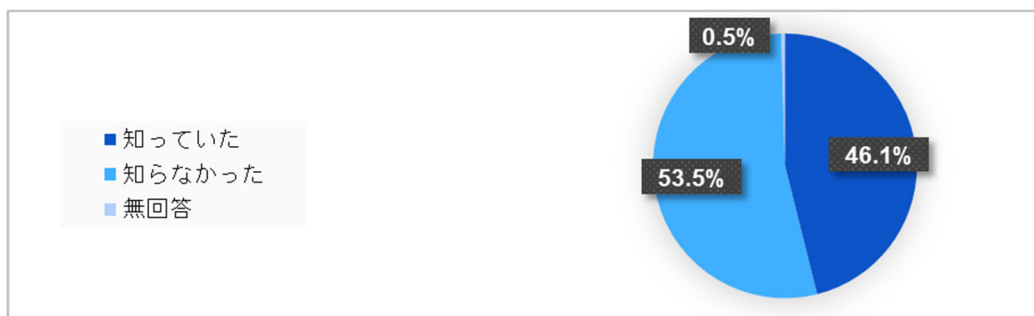
思った	168	77.4%
どちらかといえば思った	46	21.2%
どちらかといえば思わなかった	1	0.5%
思わなかった	1	0.5%
無回答	1	0.5%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

217 件の回答

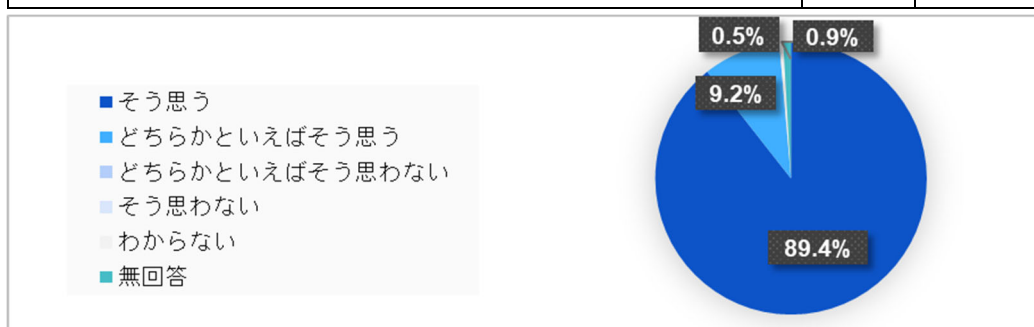
知っていた	100	46.1%
知らなかった	116	53.5%
無回答	1	0.5%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

217 件の回答

そう思う	194	89.4%
どちらかといえばそう思う	20	9.2%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
わからない	1	0.5%
無回答	2	0.9%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。自由に記述してください。

6つの視点が重要だと思いました。特に6つ目の違った目線考え方は多様性に直結するものだと思います。なので実現していくためには一人ひとりが自分とは異なった考え方の人がいることを忘れずに生きていくことが必要あとと思いました。

自分も特殊とされていると思うこと

小学校から多様性の教育をすること

差別的な意識を持っている自覚。

たくさんの人と交流し、自分とは違う「多様性」を理解して支え合うにはどう行動すればよいかを日頃から考えておくことが必要だと思った。

互いに思いやる心

一人一人の理解を深め、認め合うこと。

相互理解

偏見を無くすことは言うのは簡単であるが、無意識のうちにおこってしまうため1つ1つの領域について経験し、意識付けをすることが必要である。

人の見た目からあれこれ考えてしまう場合、実際にその人と関わってみたり、通常とは反対の視点から考えたりすることが必要であると考えます。または他の人の意見をきくとよい。ネガティブ思考からポジティブ思考へ

ダイバーシティの話を書き、まずは考え方の偏りをなくすことが必要であると感じた。

青いチラシの裏に 2018～19 年浸透、2020～21 年発展、2022 年拡大とありますが、「ダイバーシティ」という言葉は浸透しているけれど、その意味や内容は浸透していないと思うので、「中身の浸透」が必要だと感じました。

男女の社会参画の強化
差別的思考の根本からの排除

無意識のうちに偏ったモノの見方をしてしまうこと（アンコンシャス・バイアス）に気づくことが必要であると思いました。

社会には様々な人がいるということを知る活動
実際にその人と関わって“知る”“知ろうとする姿勢”をもつこと

自分の意識を見直すことが必要だと思いました。自分のアンコンシャス・バイアスが意外とあるなと思ったので、気をつけて意識付けしていきます。お話ありがとうございました。

インクルーシブ教育のあり方をもう一度見つめ直し、子どもの頃から多様な人との関わりをもつべきだと思う。

企業などの採用側が偏見を持たずに平等にみること。

国民一人ひとりが受け入れることを許容していく必要がある。

お互いを知ろうという気持ち。

心の余裕 お金、予算の余裕
アンコンシャス・バイアスの知覚

相互理解

一人一人の個性の尊重、身近なものから無意識に偏った見方をしているもの・ことを探し出すこと。

偏見を無くすべき

1人1人の理解が必要だと考える。

皆が心を広くもっていること
勝手に決めつけないこと

ダイバーシティやアンコンシャス・バイアスのように言葉が分かりにくく、一般に認識が広がりにくいと思った。子どもから老人まで、誰にでも分かりやすい表現があると良いと思う。

アンコンシャス・バイアスを持っていることを自覚して、多様な意見を聞いたり、客観的データを見ていくことが必要だと思った。

それぞれが認め合う環境づくり

自分と違う人を認めていく気持ち。

一人一人が自分を客観的に分析できる視点をもつことで「無意識の偏見」の存在に気付くことが、まず必要だと考える。

ゆっくりしゃべること

互いを尊重し合うこと。

アンコンシャスバイアスの撤廃←1人ひとりの意識づけ

アンコンシャスバイアスを気をつけていきたいです。

正しい知識を得ること。

1人1人が固定概念を打破していくこと。

今日していただいたような話をみんなに広めていくこと。

このような講義を受けて認知を広めることが大切だと思います。相手に対して思い込みだけで判断するのではなく相手を思いやり多様性を理解しなければならぬので、日頃から考える環境が必要だと思います。

一人一人の意識を変える必要があると思う。

自己的な考え方ではなく、相手のことを思いやる気持ちが必要になると感じた。

相手を思いやり、みんなが協力して社会を築いていこうという考えを一人ひとりが持つこと。

様々な人たちが積極的に関わり、コミュニケーションを図っていくことが大切だと思う。

ダイバーシティという言葉と意味について知らない方が多いと思うので、それらを認知してもらうことが必要である。

1人1人の意見が必要だと思う。また、意見を出しやすい環境も必要。

一人ひとりが意識をし、ダイバーシティ社会を実現するという強い意志が必要であると思います。

それぞれが他者を認め合い、助け合っていく必要があると思う。同時に、自身が偏った考えをもっていないかを見つめ直すことが大切だと考えた。

子どものころから学校でも無意識の偏見はあり、それが身についてしまうのも今の社会、教育現場では自然なことだと思う。男女で分けられる、特別支援学級と分けられるなど教育現場から変え、そのためには教員が変わる必要があると思う。

1人1人が意識をして、行動にうつすこと。

当たり前だと思っていることを疑う気持ちが必要だと思いました。

お話にもあったように、自分自身にアンコンシャス・バイアスが存在しているというものの自覚、そして様々な人と関わり多様なことを受け入れようとする姿勢が大切だと思いました。

ダイバーシティという言葉をもっと知ってもらうことが必要だと思う。

1人1人が、「常識」や「思い込み」を乗り越え、自分自身の価値観をもつ（他人に植えつけられたものではなく）ことが必要だと考える。教育でもっと自己肯定感を高めていくことが、まず第一歩だと考えます。まずは教育から変えること。

「交流」が一番必要だと思う。

国民全体が「違い」というものを意識して生活をする

それぞれがアンコンシャス・バイアスを「自覚する」ことが必要だと、特に思いました。

個人が無意識の偏見に気づくこと。そのための機会の援助。

ダイバーシティに関する正しい知識
あらゆる人を受け入れる気持ち

「ダイバーシティ社会」という言葉自体をもっと多くの人が知り、理解することが必要だと思う。

一人一人違った個性があるということを理解し、知識を身につける。

様々な人がダイバーシティについて理解を深めること。

理解、共感

1人1人の意識。見方・考え方を変える。

違いを認めること。

個性を認め合うこと

リビング・ライブラリー「生きた図書館」

自分自身が持っている偏見に対して実際にその人と対話をして関わることで、理解が深まると思います。

無意識を自覚して、個々を尊重できるようになること。

地域の交流

ダイバーシティをもっと色々なところで広める。

人の意見を聞き尊重する気持ち

アンコンシャス・バイアスを友人同士指摘し合える環境

皆がダイバーシティを意識する。

アンコンシャス・バイアスというのは他人の事をいっている事だと思う。他人の事ばかりいうのではなくみんながまず自分の事を頑張ろうと思えばよい。様々な人が世の中においてそれぞれ良い所をもっていると思うようにする。

1人1人の多様性を受容する意識と、自分らしさを正直に出しても否定されない（不利益を生じない）社会づくり。個性が尊重される職場。

他者理解・異文化理解を深めること。
自分をもつこと（自分と向き合う）

具体的にこうした方が良いという案はないけれど、世の中から無意識の差別がなくなれば良いと思った。

一人一人が認め合う心をもつこと

社会全体の協力

ダイバーシティの認知度をあげる

もっと障がいのある人や外国人やLGBTに対する理解・知識を深めること。

理解をしあう

一人ひとりの意識

見ただけで判断しない力

アンコンシャス・バイアスは誰しもが持っているということを自覚することがまずは必要だと思う。

このような講演会の場を設け、多くの人達に聴いてもらう。

無意識の偏見に気をつける

偏見を無くし、共存していく考え方を全員が持つこと。

自身のアンコンシャス・バイアスに気づくこと。

自分以外のものを受けとめること

人はみんなとちがうことをきらいます。自然とまわりに合わせようとします。そうではなく、自分とはちがう意見をうけとめることが大切だと思います。

幼い頃から違いを認め合えるような環境をつくる。例えば、インクルーシブ教育などの小学校の頃からの教育が必要だと思いました。

人によって当たり前のことが異なるということを理解する。

他者の考えが理解出来なくても否定はしない。

誰もがこの意識を持ち続けること。

まず皆がダイバーシティの考え方を知ることだと思います。私も今回初めて知り、すばらしい考え方だと思ったので、広める活動を行うことで、賛同する人も増えるのではないのでしょうか。

アンコンシャスバイアスを受け入れないままだと、ずっと考えが固定になってしまおうと思うので、「この人は〇〇だ」などの日常生活を見直すことが大切だと思います。

ダイバーシティがなぜ必要かということをもっと多くの人に知ってもらわなければならないと感じた。

1人1人の他人・他国籍理解

物を様々な角度・立場から見る能力の育成

互いの価値観を共有する

一人ひとりがダイバーシティとは何か理解すること、社会の一員としてアンコンシャス・バイアスを自覚することが必要だと思います。今回のような講演によって一人でも多くダイバーシティについて理解を深めることが大切だと思います。

幼い時からの教育

高齢者のダイバーシティの理解。以前、ニュースでどこかの県知事（市長？）が同性愛を否定する発言があった。インタビューでは 40 代ぐらいまでの人はその考えを否定していたが、50 代（？）より上の人は納得していた。

アンコンシャス・バイアスを知ること、皆の考え方が変わるために行動したり、世の中の流れを変えることが必要だと思いました。すぐに変えることは難しくても、ひとりひとりが尊重される社会を三重から発信していけたら、いいのではないかと思います。

互いを尊重し認めあうこと。
支えあうことが必要。

学校で同じ年齢などの人とばかり関わるのではなく、様々な年齢や性格の人と関わる機会をつくること。

偏見を持っていても、その偏見を個性と捉えること。

たくさんの人と関わり、色々な考え方があることを知ることです。

ダイバーシティというものを、世間が知ることが大切だと思う。

普通という固定概念をなくし、心のキャパを広げ、受け入れる事が大切である。

一人一人、同じ国でも各家族、各個人が文化をもっているという意識をもち、文化を尊重すること。

理解と助け合い

個の尊重 違いを認め、受け入れるという社会の意識

自分で無意識の偏見を持つことを自覚し、日頃より新聞などを読むことを通して、社会の動きを把握し、社会が差別的言動に流れないように注意するべきである。

先生もいわれていた無意識の偏見をなくすことが必要だと思う。

みんながアンコンシャスバイアスや6つの視点について理解をして、実現していくことが一番大切で必要だと思う。

既にありますが、日本における外国人雇用の更なる進展が必要なのではないかと思います。

学校教育の中で、身近なものから異文化を理解させる。

アンコンシャス・バイアスについて知り、共に考えていくこと。

「違う」ということを認めること。

もっと、このような働きをしてくださっている人たちの行動や活動を色んな人が知ることが大切であり、必要だと思った。

知らず知らずのうちに、アンコンシャス・バイアスをしてしまっていることを自己認識し、ダイバーシティ&インクルージョンの姿勢を一人一人が持つことが大切であると思った。

一人一人が意識して、行動することが大切だと思う。

しかし、今回に関して、いきなり中身の話に入ってしまったため、よくわからないままおわってしまい、もう少し、詳しく、わかりやすい説明がほしいと思った。

すぐには実現するのは難しいかもしれないが、まずは一人一人が無意識のうちに、偏見を持ってしまっていることを自覚していくことが必要だと思いました。

個性尊重の教育活動

お互いを見つめ直し、尊重していくこと。
普通をなくしていくこと。

幼少期からの多様性についての教育

ブラインドをして、フェアな目で相手と接する。

お互いにお互いの価値観などを尊重すること。

多くの人々が潜在的に持つ偏見をなくしていくこと。

「私は偏見がない」と誰しも思っていると思います。しかし、そう思っている人ほど、偏見をもっていると思うので、今日の話でもあったように、「誰しもがアンコンシャス・バイアスがある」と意識をし、色々な見方をしていくことが大切だと思います。

ダイバーシティとは何かをまず知ること。そして知らない、わからない人に伝えていくこと。ダイバーシティ社会のある未来に希望をもつこと。

人々の多様性を理解し、アンコンシャス・バイアスを自認することは1番大切だが、ユニバーサル・デザインを推進するための資金や雇用形態の変化に伴うコストの増減も考えなければならないと思う。

かたよった考え方をなくすことが必要だと思いました。

物事を客観視することと、偏ったモノの見方を変えていくこと。

差別をなくす。

人のありのままを受け止め、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）に気をつける。

「ダイバーシティ」という言葉をいろいろな世代の人々が知る必要があると思います。

偏った意見を捨て、ありのままで一人の人をうけとめる。

若者よりも年齢の上の人へのこうえんかいなどをひらき分からせること

一人一人を尊重する考えを持つことが必要だと思う。

アンコンシャス・バイアスを無くすために、子どものうちから、多様性について考えるべきだと思います。よって、教育現場でも、今よりもっとダイバーシティを考える機会を設ける。

まず、ダイバーシティということを知り、社会で1人ひとりが尊重されるようになることが必要だと感じる。

一人ひとりが相手を尊重し、礼儀を持って人間関係を築いていくこと。

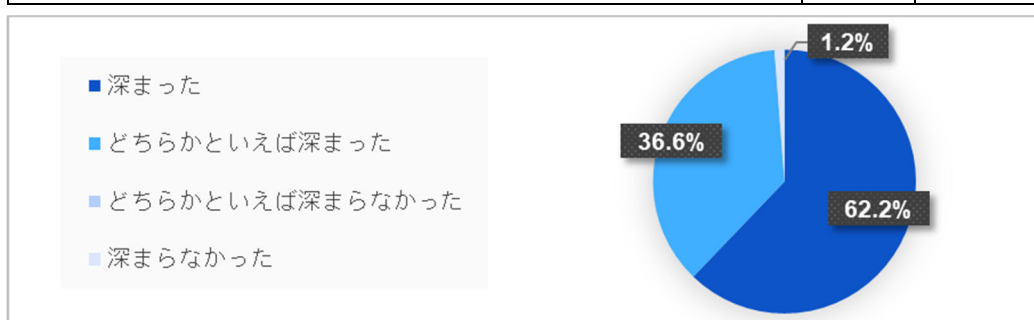
(4) 三重大学

① 第1回～第4回（10月13日、10月14日、10月19日開催）

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

82件の回答

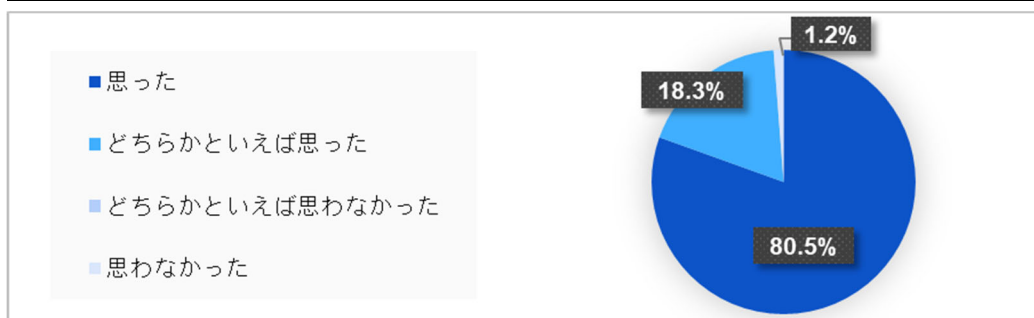
深まった	51	62.2%
どちらかといえば深まった	30	36.6%
どちらかといえば深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	1	1.2%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にされた行動）をしていこうと思われましたか？

82件の回答

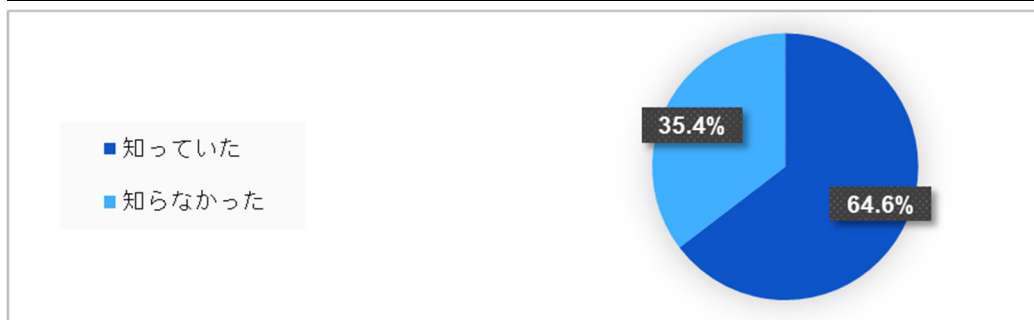
思った	66	80.5%
どちらかといえば思った	15	18.3%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	1	1.2%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

82件の回答

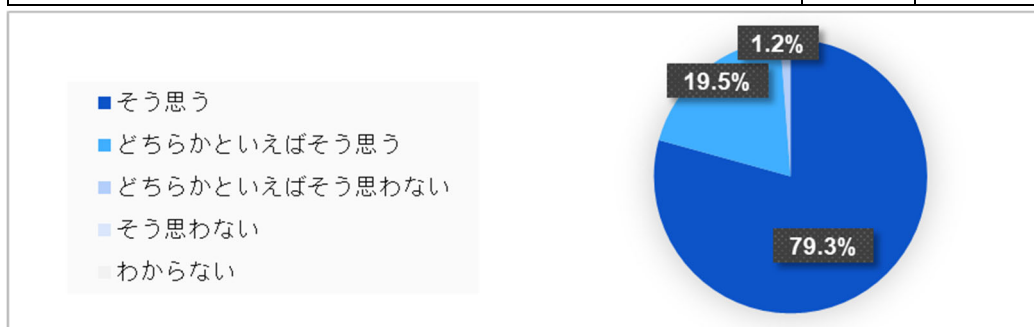
知っていた	53	64.6%
知らなかった	29	35.4%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

82件の回答

そう思う	65	79.3%
どちらかといえばそう思う	16	19.5%
どちらかといえばそう思わない	1	1.2%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

1人1人が意識して行動する

アンコンシャスバイアスをなくす努力

お互いを思いやる気持ち

お互いを尊重し合うこと

さまざまな立場の人のことを知ることが必要だと思います。

ダイバーシティという考えをより広く知ってもらうこと。

ダイバーシティについての理解を広める

ダイバーシティ社会について、小学校や中学校で教える

ダイバーシティ社会を実現させるにはアンコンシャス・バイアスを取り去り、お互いに支えあいや交流をしていくことが大切である。

たくさんの人の意見を聞くことや、様々な考え方や人がいるということを理解すること。

ベーシックインカムを導入によりある程度の資金を得られることが確定している状況にし、人々がやりたい行動を起こしやすくすることが必要。

まずダイバーシティという考え方がまだあまり広まっていないと感じるので、この考え方を広めると共に、より様々な人とコミュニケーションをとれる環境を作る必要があると思います。

まずは認知度をあげること

みんながダイバーシティについて理解し、価値観を持つこと。

よく言われることだと思うが、個人の他人の多様性に対する意識を変えることが必要だと思う。

企業が障がい者などを雇う時の政府のサポートが必要だと思う。

違いやマイノリティを受け入れることができる寛容な気持ちが必要だと思う。

一人ひとりの意識、ダイバーシティ社会についてもっと多くのことを知る

一人一人がダイバーシティについて理解し、受け入れること。

一人一人が真摯に取り組むこと。

何事も否定する前に、一度受け入れることができる広い心が必要。

各人が問題に取り組むこと

共感する力

わからないものをわかろうとする姿勢

固定概念を覆すきっかけとなる事例

互いに理解しあえるように相手を知ろうとすること

互いの協調性が必要だと思う

国民全員の理解

今も、偏った見方がされていることがしばしばあり、私自身も偏見を持っているかもしれません。ですが、相手を理解する努力を怠らないこと、自分のことも知ってもらおうとすることで、ダイバーシティ社会を実現することが出来るのではないかと思います。

差別、偏見を無くす意識が大切だと思います。

まだ、障がいを持つ方、外国籍の人などに対して偏見が多いと思います。そのような人々と関わる機会や情報を発信する機会を設けることでそのような偏見がなくなっていくのではないかと考えます。

また、職場で普通の人と働いてもらうにしても、そのような人々が働きやすい環境、サポートできる専門の人を職場に置くことも大切かと思います。

差別をなくすこと。一人一人がいろいろな人の立場になって考えていくことが大切。

私はダイバーシティ社会の実現のためには時間が必要だと思います。固定観念や偏見で凝り固まった人々は高齢者に多く多様性を尊重しようという教育も小さなころからされていません。そのため、ある年代が居なくなるまでの間は、我慢の時間になります。

視覚情報でその人の全てを認識しないこと。見えない内面をみるには、人との関わりや繋がりを大切にすべきだとおもう。

自己中心的にならず、周りのことを考える。

自分の意見や考えが正しいと思いきまずに、本当にその意見や考えが正しいのかと疑いを持つことが大切だと思った。

自分の考えだけにとらわれず、いろいろな視野を持つことだと思います。

周りの人の理解、理解しようとする社会の姿勢や政治

小学校や中学校の生活のなかで障がい者や外国人などの人と交流する機会が必要だと思えます

障害や性自認の違いを特別なことと思わず、あくまでも個性の一つだと認識し、お互いに分け隔てなく接し合うこと

人の価値観・考え方の変化

人はそれぞれ違う考え方を持っていて、正しく理解することが必要だと思いました。

人間については、見た目での判断をせず、どんな人かしっかりと理解し、その人の考え方などを尊重する必要があると思う。逆に他人に自分のことを正しく知ってもらい必要もあるはず。思いやりの心や、人の気持ちになって考えることも大切だろう。特に無意識の偏見”アンコンシャスバイアス”は知らないうちに人を傷つけることがあると思うため、発言して良いものか判断できるようになるべきだと思う。また、人間の多様性にしても生物の多様性にしても、誰かが考えるのではなくみんなで取り組むことが必要だと考える。

人種、国籍にかかわらず、すべての人を尊重することが必要と感じました。

人々がお互いを尊重しあうことが必要だと思う。

人々が日々意識をもって生活する

人々が無意識のうちに持つようになる偏見をなくするための教育

人任せではなく、一人ひとりがお互いに理解を深め意識していく必要があると思った。自分の意見がすべてではなく、柔軟に他人の意見に耳を傾けることが重要だと思った。

他者を尊重するとともに自分らしく社会で生きること

多様な人々と交流する機会、またアンコンシャスバイアス自体に気づけていない人が多いと思うので自分のアンコンシャスバイアスに向き合い考える機会を小さい子から大人まで作っていくことが大切であると思う。

多様な働き方に応じた職場環境を準備することが必要だと考えます。ビジネスの幅を広げるためにも、より多くの人々がどんな状況においても働けるような環境を作ることが、ダイバーシティ社会を実現させるための一歩であると考えます。

対面に限らず、リモートやチャット等の様々なコミュニケーションの中から自分がやり易いと思った話し合いの形を自由に選択し、興味のある分野から徐々に交流を増やせる機会

大勢の人の理解

男女平等化

物の見方を変えること

無意識に偏見を持っていることを自分自身が自覚すること。

様々な境遇の人とのコミュニケーションの機会を作る。

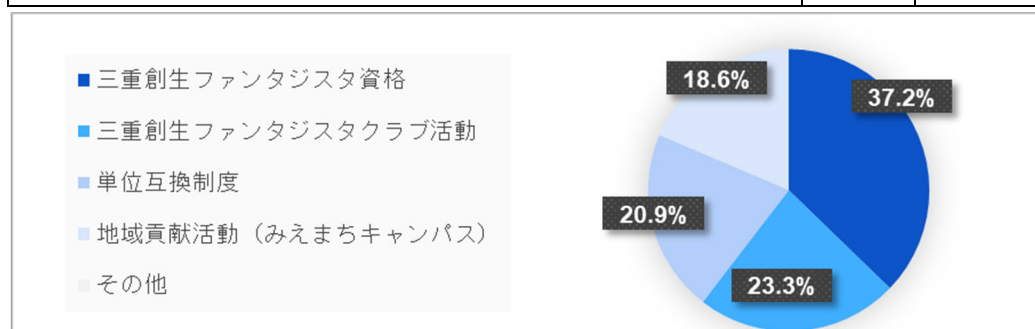
例えば「男ならこうであれ」のような、今までの風潮で生きてきた人を非難したりするのではなく、理解してもらおう形でやさしく歩み寄ることで、だれもお互いを尊重する社会に近づけることは可能だと考えます

① 第6回（1月20日開催）

Q1 「高等教育コンソーシアムみえ」の取組で興味深かったことは何ですか？

43件の回答

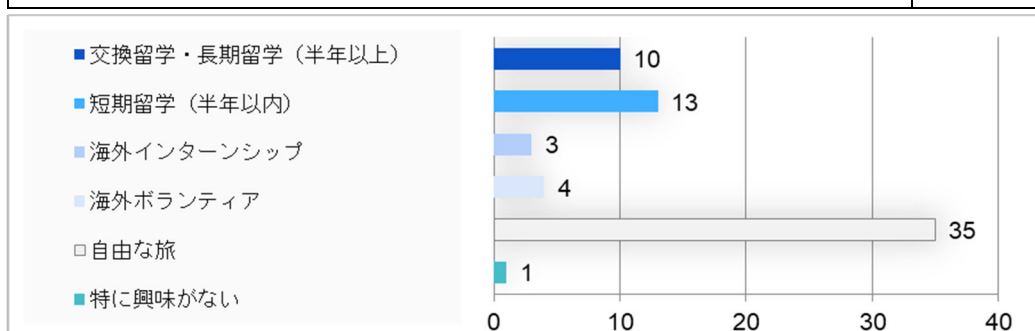
三重創生ファンタジスタ資格	16	37.2%
三重創生ファンタジスタクラブ活動	10	23.3%
単位互換制度	9	20.9%
地域貢献活動（みえまちキャンパス）	8	18.6%
その他	0	0.0%



Q2 あなたが海外に行くとしたらどんな形で行きたいですか？選択肢から該当するものを全て選んでください。（複数回答）

43件の回答

交換留学・長期留学（半年以上）	10
短期留学（半年以内）	13
海外インターンシップ	3
海外ボランティア	4
自由な旅	35
特に興味がない	1



Q3 あなた自身やあなたの周りでアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）と思われる事例はありますか？その場合はどのように行動しますか？

男だからという理由で重いものを持たされることです。

夫が働き、妻が家事をする。
自分なら、しっかりと家事の役割分担をする。

男だからしっかりしないといけない

背が高く素の顔がきついで怖い人だと思われやすいこと。笑顔で明るい口調で話すようにしている。

「女の子なんだから身だしなみをきちんとしなさい」と言われること。「性別は関係ない」と。

家事は母親がするものだ 自分は母親の手伝いをしています

女性が家事をする

男らしさ女らしさ

女性の産後退職

外国の人と関わるのは大変。
思い切って関わってみる

見た目で人の性格を判断してしまう。
見た目にとらわれずに話して、中身を知ろうと努力する

眼鏡をかけている人は真面目

昔、兄弟に対し”お前”と使ったところ、女の子は言葉遣いに気をつけなさい。といわれたことがある。 行動：この言葉を聞いて、なんで?と思ったし、自分の周りの女の子も使う子はいたため、その場では一時的に避けたが、今もたまに使う。だが、現在は特に咎められない。”お前”という言葉自体使わないでほしいという意味だったのかもしれないと思うが、そこに性別を入れられたことに疑問を感じていた。

男は背が高い

見た目の差異で頼みごとをするかしないかをわかる。このときなるべく全員に声をかけるようにする。

男性は育休をとりづらいこと。

小食な人もいるのに男ならご飯はたくさん食べるという偏見がある。

無意識に「肌色」という言葉を使ってしまう。(肌の色は人それぞれ)

12月25日に「メリークリスマス」と言ってしまう。(キリスト教を信仰していない人も多くいる)

心と体の性が一致していないことを「性同一性障害」と呼んでしまう。(病理化を避けるために、2019年に改訂されたWHOの国際疾病分類によれば「性同一性障害」は、これまでの「精神障害」の分類から除外され、「性別不合」という名称に変更された)

女性を単独で海外出張させるのは危険

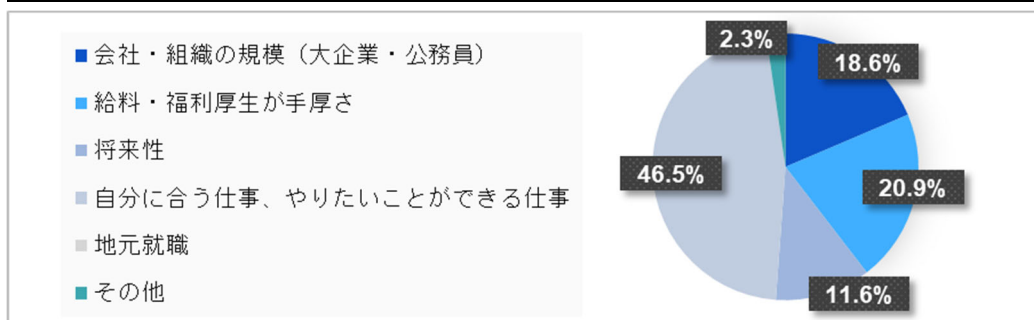
男性は上昇志向が強く、女性は安定志向

初対面の人に対して職業や学歴で、こういう人かなと決めつけてしまう。なるべく多く話すように心がける。

Q4 あなたは、就職先を選ぶときに何を最も優先しますか？

43件の回答

会社・組織の規模（大企業・公務員）	8	18.6%
給料・福利厚生の手厚さ	9	20.9%
将来性	5	11.6%
自分に合う仕事、やりたいことができる仕事	20	46.5%
地元就職	0	0.0%
その他	1	2.3%



Q5 今日を含めてこれまでのダイバーシティの授業において感じたことを自由に記述してください。

三重大学だけでなく県全体で外部に発信している取り組みについて詳しく知れたので良かったです。

自分はこれまであまり意識することがなかったので、これからはより意識しているという気になった。

ダイバーシティな社会を目標に多くのことに取り組んでいることを知り、興味がわいた。

どのように生きていくのかを考えるきっかけになりました。

この授業を受けるまでは、ダイバーシティについて考えてきていなかったが、この機会に考えるべきだと思った。この問題に関しては、みなが考えるべきであるが、意識しすぎるのもよくないだろう。このジレンマを乗り越えた先に、すべての人が気持ちよく過ごせる世界へと進んでいくと考えている。

三重大生の就職先や多くの人が途中で転職していることがわかってよかった。また、たこ焼きを広める活動はとても楽しそうで自分らしい生き方をしている人だと思った。

視野が広がってよかったです。

三重県の障がい者雇用率が全国の中でも高いことに驚いた。

このような授業はあまり受けたことがなく新鮮で、自分の考え方にも変化を与えてくれた。

色々な人の活躍によって私たちの住む世界はより一層飛躍するのではないかと感じた

はじめは「ダイバーシティ」がどういうものなのか全く知らなかったが、地域事業や差別や偏見に至るまで様々なことを学べて良かった。

就職先がどのようなところでその後の転職とかいろいろな可能性の話

この授業を受けるまでダイバーシティについて全く知らなかったが、そういうものが県内で活発に取り組まれていることが知れて良かった。

日本の管理職の女性の割合が海外と比べてとても低いことに驚き、改善するべきだと思いました。

今後、多様性を持つことが社会の発展につながってくるのだと考えた。無意識の偏見は気づいていないだけで自分がしているかもしれないと思い、怖くなった。

色々なお話を聞くことができ、自分にとってとてもプラスになったなと思いました。これらを活かして行きたいと思いました。

様々な考えを知ることができて良かった

小さいときから、差別はダメ。尊重しよう。といったことを学んで、そうしないといけないことは多くの人が理解し、知っていると思うが、まだまだたくさん問題として挙げられることがあり、LGBTのように最近話題になったということも少なくないと思う。きっとまだ注目されていない問題もあると思う。みんながある程度学んでいても、問題がなくなるということは、理解が足りていないのだと思うため、もっと興味や関心を多くの人を持ち、みんなで助け合える世の中になってほしいと考えた。大学生はまだ不平等なことから守られていると思うため、仕事をしていきたいと思う女性という立場からも、社会に出る前にもっと多様性について勉強しておきたい。

ダイバーシティは自分とは関係ないと思っていたけど、勉強するうちにダイバーシティをまずは理解していくことが大切だと思った

今の生活や、これからの将来についての目標や指針を考えて行くうえでとても有意義なものであった。特に三重創生ファンタジスタなどの話は自分にとって魅力的な話で、参考になった。

生き方は人それぞれ多様なものなので周りに流されず生きていきたい。

誰にでもアンコンシャスバイアスがあることを自覚して、抑える必要があると思った。また、偏見は知識不足も関係すると思うので正しい知識を多くつけていきたいと思った。

自分の考えを見直すことができる。

無知による差別は避けられないことだが限りなくゼロに近づけることはできるのではないかと思う。そのためにも人間は常に学び続け、考え続けなければいけないのではないかとも思う。

不可能はないということがわかり自分から主体的に活動していく意欲がわいた。

自分が小学校であった時、すなわち 10 年前と比較して多様性に対する人々の考えが柔軟になっているように感じている。今回のように多様性に関する授業を教育として行うことや、多様性をテーマにしたドラマや音楽が生み出されていく中で、一人ひとりがこのテーマに対し、考えることが多くなったように思われる。これまでの授業のように多様性のことについて考える機会があることは大変重要であると思う。

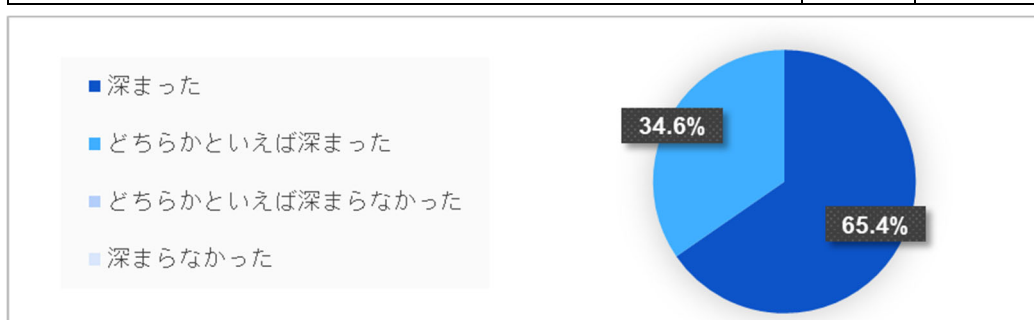
(5) 四日市看護医療大学

① 第1回 (11月2日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

26件の回答

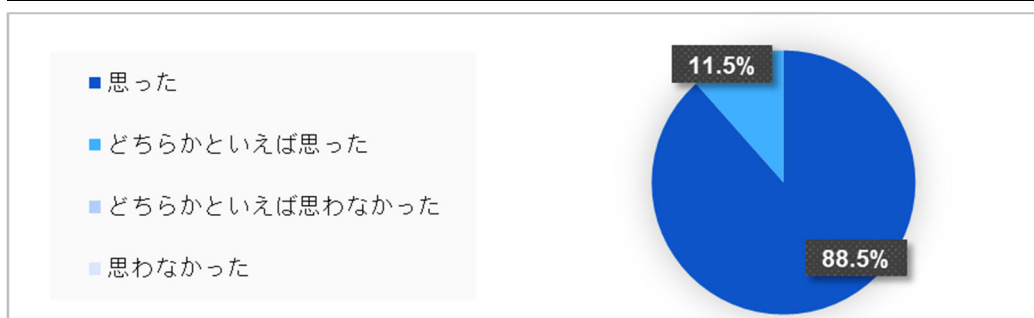
深まった	17	65.4%
どちらかといえば深まった	9	34.6%
どちらかといえば深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動(人の多様性を大切にされた行動)をしようと思いましたか？

26件の回答

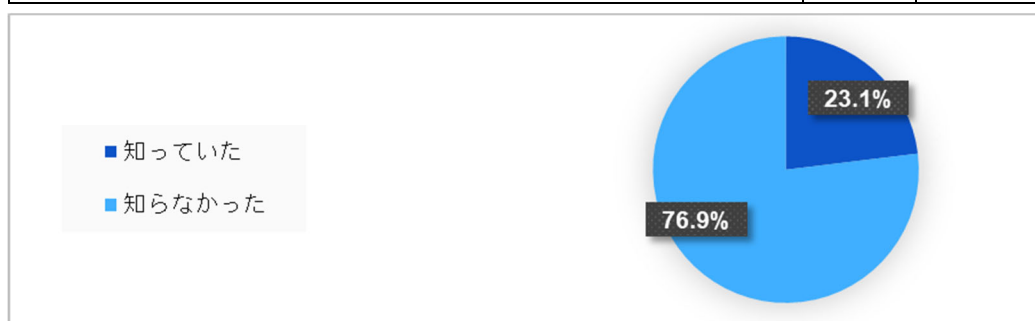
思った	23	88.5%
どちらかといえば思った	3	11.5%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

26件の回答

知っていた	6	23.1%
知らなかった	20	76.9%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

26件の回答

そう思う	24	92.3%
どちらかといえばそう思う	2	7.7%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

多くの人にダイバーシティについて理解してもらうこと

1人1人がアイデンティティを大切にし、あらゆる人の個性を受け入れようという姿勢を持つことが必要であると考えます。

もっと若いうちからダイバーシティ社会についての講演会などでお話が聞けると、知識を身につけることができると思うので、ダイバーシティ社会についてを学べる場が必要であると思います。

思い込み、偏見を無くしていく必要がある。

国籍や性別にとらわれず、その人が出来ること出来ないことを見極める能力や行動が必要であると思う。

男女共同参画

様々な人と交流することで偏見を無くすことが必要だと考えます。

偏見を除いて、客観的に捉えること

国のトップや県のトップが積極的に発信していき、連日取り上げられるくらいにして、みんなの目や耳に情報が入れば世の中自体が変わり、法が変わってくれると思う。

アンコンシャス・バイアスにより多くの人が気づくことがダイバーシティ社会実現のために必要だと感じた。

柔軟な考え方

人々が多様性を理解し、受け入れることが大切だと思います。まずは知ってもらうことだと思います。

様々な人と交流する機会を作ることでダイバーシティ社会の実現に近づくことができるのではないかと思います。

偏見をなくすことが大切だと思うが、簡単なことではないと思う。そのため、まずはこの動画のようにダイバーシティ社会という言葉を知ってもらい興味を持ってもらう必要があると思う。

ダイバーシティ社会というものそのものをみんなが知って理解すること

授業でもあった通り、個人の偏った考え方が、ダイバーシティ社会を不可能にすることだと思います。考え方は個人でそれぞれですが、それをお互いに受け入れて考えていくことが大切だと思います。

育児休業・介護休業の充実や活用

幼い頃からテレビなどのメディア、環境から得た性別や国籍などの誤った情報を無くしていくこと。大人が誤った情報を持っていると、その子供に同じ考えが伝わってしまうため、大人が正しい情報を学び、伝えていくことが必要だと考えています。

交流を増やすことだと思います。現在コロナで人と交流する機会が減っており、ダイバーシティ視点の1である色々な声を聞くということが出来ていないと私自身感じているからです。よって、交流を増やすことがダイバーシティ社会を実現するために必要なものだと思います。

ある一定の考え方ではなく、柔軟に色々な方向から考えられる脳がまず必要だなと思います。

知識が無いとダイバーシティ社会という言葉も知らないだろうからまず知ってもらうことが必要だと思います。

今現在、外国人や障がい者の一般企業の就職率は上がっているのですが、障がい者を利用者として雇っている会社の方の話によると、利用者さんを進めてきた相談員の方の中にはアフターフォローができない方もおり、当事者が相談する場所がなくて困っているのが現状みたいです。これは一部の話なのですが、みんなが支え会えるとより実現に近づくのではないかと思います。また、企業の受け入れ態勢が障害の理解へとつながると思います。

知らず知らずのうちにダイバーシティの行動をしていることが多い。実際私もこの講義を聞くまで知らず知らずのうちにダイバーシティの行動や言動をしていた。そのため、ダイバーシティとは何かについてもっと多くの人が必要があると考える。日本には昔から血液型によって生活診断する悪い癖がある。私も小学歳の頃血液型による性格診断が載っている下敷きを使っていた。このように、社会がダイバーシティ行動をしているため知らず知らずのうちに皆も影響されてしまっていると考え。これらのことから、社会全体でダイバーシティは何かについて学び理解を深める必要があると考える。

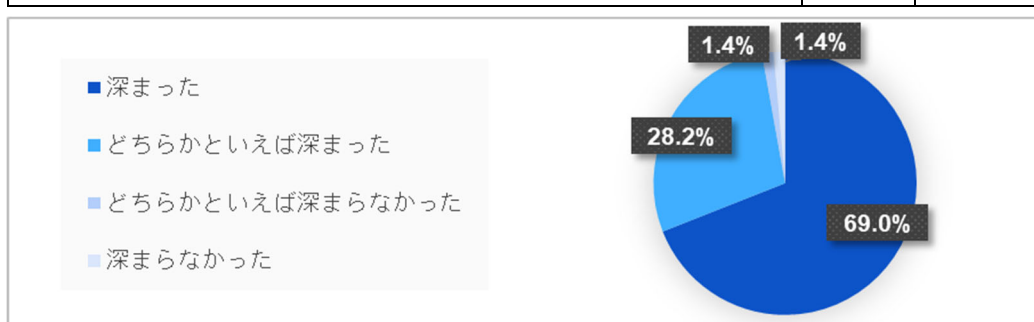
(6) 三重短期大学

① 第1回 (8月13日、11月18日開催)

Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？

71件の回答

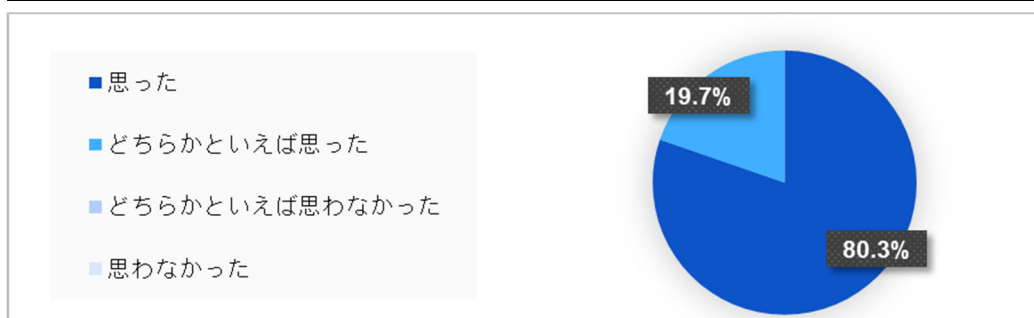
深まった	49	69.0%
どちらかといえば深まった	20	28.2%
どちらかといえば深まらなかった	1	1.4%
深まらなかった	1	1.4%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動 (人の多様性を大切にされた行動) をしていこうと思われましたか？

71件の回答

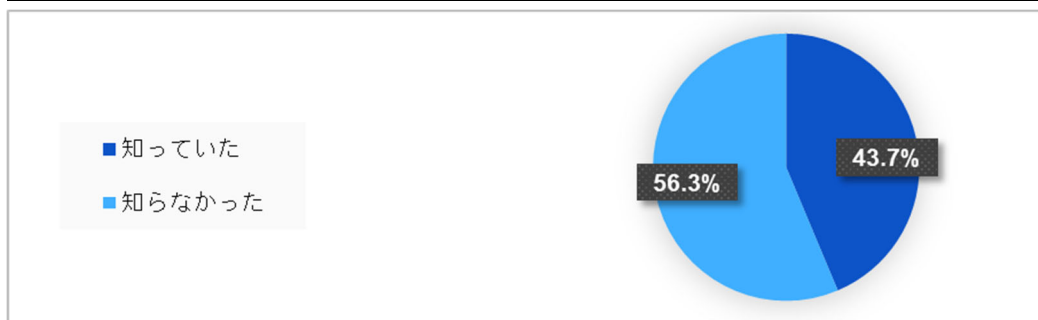
思った	57	80.3%
どちらかといえば思った	14	19.7%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？

71件の回答

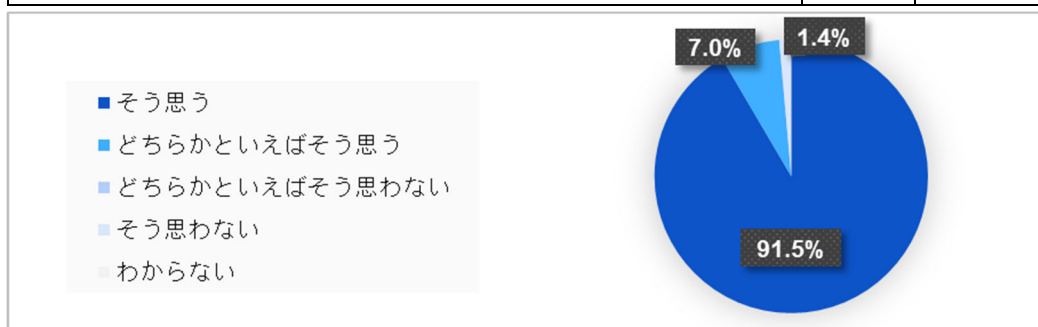
知っていた	31	43.7%
知らなかった	40	56.3%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？

71件の回答

そう思う	65	91.5%
どちらかといえばそう思う	5	7.0%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	1	1.4%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。
自由に記述してください。

三重県は県職員に障害者枠を設けています。ごく少数かもしれませんが、採用しています。

しかし、性的マイノリティーの職員が採用されているのを見たことも聞いたこともありません。見てすぐわかる性もあれば、見ただけではわからない心の性の人もあり、ゼロなのかどうかはわからないのですが、ダイバーシティを掲げ、推奨するのであれば、まずはそこからなのではないでしょうか。

一般企業がとりいれていくことで、少しずつ認知され、居場所ができたと思いますが、公の職場が変わることで、古い考えの方々も考える機会になるように思います。

アンコンシャス・バイアスについて知る事が出来たのは良かったです。

人種差別、男女差別、障害者差別、様々な特徴、性質を持った人々に対する偏見をまず人々の深層意識から時間をかけて時代の移り変わりと同じ目で見ると徐々に無くしていくこと。

アンコンシャスバイアスを持ちにくい社会を作ること

お話にあったように、弱者を一方向で支えるのではなく互いに支え合うことがダイバーシティ社会の実現に繋がることだと思います。支えられっぱなしだと、自分は相手に対して役に立っていない意味のない人間だと思ってしまいます。誰かを支えることで、自分自身が誰かの役になっていると思うことができる環境は多様性を受け入れやすくなると思います。

きちんとお互いに言葉にして伝え合うことが大切だと思います。察して、みたいな感じにいる人もよくいますが、他人なんだからなにを思っているか分からないのだから、きちんと言葉にして分かり合うことが大切だと思いました

この問題は時が必要だと思う。ジェンダーのバイアスも上下関係のバイアスも今すぐには対処できる問題ではないと思う。部活で水を飲ませてもらえなかった世代もいれば、こまめに水分をとる世代もいる。このような昔と今の価値観の溝を埋めるのはとても時間がかかると思う。

そういった社会の受け入れが必要だと思いました。

ダイバーシティについて発信できる場をもっと作る

ダイバーシティ社会が大切だと思う人を多くつくること

ひとりひとりがアンコンシャス・バイアスについて意識するようにして、気持ちの持ち方から変えていくことが必要だと思う。

意見ではなく疑問だが、コミュニケーションが苦手という自分のような性格は尊重してもらえるのか。ダイバーシティ社会を実現していこうという考えも行き過ぎれば同調圧力になるのではないかと思った。我ながら嫌になるほど捻くれている。

一人一人が多様性を受け入れる姿勢をもつことが必要だと思う。

一人一人の個人のダイバーシティに対する意識を持つことが必要だと思います。

外国人が、日本人と同様に働ける制度改革が必要であると考えます。

気持ち

健康な人健康でない人、大きい人、小さい人など思考だけでなく心身からの多様性を一人一人尊重し合っていく必要がある

最初の印象だけで判断しないこと

持っている偏見や意見を含め、多様性を飲み込んでいくこと

自分で考えることと自分の中にアンコンシャス・バイアスがあることを自覚し、他人及びその考えを尊重すること。

自分とは異なった体験を通して自分とは異なる意見を持った人がいると認識することが大切だと思いました。自分の経験からは考えることの出来ない意見を最初は理解できないかもしれないが、その人の人生を聞けば理解することが出来ると思います。

自分のことだけでなく相手の自由、幸せなど思いやる気持ちや理解。

自分の価値観を人に押し付けないように心掛ける。

自分の中での「普通」の考えを捨てる。

日本人に多い傾向なのかもしれませんが、私たちは自分と違うものもしくは多数派と違うものを変と覚えることが多いと思います。そうではなく、これはあくまで自分の中の感覚だということをもっと理解していけば、それぞれの多様性を受け入れることにつながっていき、この社会を実現する第一歩になるのではないのでしょうか。

自分の普通が相手にとっての普通ではないと思うことや、自分の普通を相手に押し付けないことが必要だと思います。例えば日本にはまだ男性は女性を好きになる女性は男性を好きになると言う認識が強いと感じますし、それが普通と思う方も多いと思います。しかし、それは他の人にとっては普通じゃないこともあるため、そのことを理解することや、自分の普通を押し付けないことが大事だと思います。

自分自身が、自分を表現できるように、相手に理解してもらえるようにできるような環境があることでこのような社会の実現に近づくとと思う。

若い世代への流布が必要。

周りの環境整備を整えることが必要であり、環境が整ってることによって安心して自分らしい生活をする事ができると考えた。

小学校などのまだ考えが柔軟な人たちに、色々な考えを持った人や性別を持った人による特別授業をすれば、その後の思考に大きな影響を与えたいと思います。

少数派の意見も受け入れ、取り入れてみる事。そのためにできる限り多くの人から意見を得ること。選択肢を増やすこと。例えば私が小学校の時、ドッチボールを苦手な人と得意な人とで分けることで、得意な人は思う存分自分の力を発揮でき、苦手な人は得意な人がいない分、ボールを投げたりすることに挑戦しやすくなったりしたので、力量に合わせて自由に選択できるように、選択肢を増やすのは良いのではないかと思います。

人々の物事を多方面から見ると姿勢だと思います。

情報の収集と公開。様々な考えが集まることで必要とされていることが分かり、情報公開することでマイノリティだからという理由で意見が言えなかった人が発言しやすくなる。

人を見かけで判断したり、こうだろうと勝手に決め付けるのではなく、1人1人と向き合い、それぞれの考えや思いをしっかりと理解していくことが必要だと思います。

選り好みせずに様々な人と関わって自分の思い込みを無くすこと。

多くの人と関わることによって人の多面的な一面を見る必要があると感じた

多くの人々の意見を集めて考えを知ることと、あらゆる場所に、できる限りたくさんの方々の媒体で情報を発信すること。

多数意見が正しいとされる風潮をなくすことだと思います。人の数だけ人の意見があること、一人一人違う人間であることを尊重する意識が必要だと思います。

多様性を理解すること、自分以外の立場も考えること、

誰もが多様性を理解し、受け入れていく社会をつくるためには、職場や学校で、ダイバーシティについて知る機会を取り入れていくことが重要だと思う。

知識。未知のものだと判断するから排除するはたらきかけをしてしまうのだと思う。多様性を受け入れる必要性を学んだ後は、それぞれについて知識を深める必要があると思う。

当たり前であると思っていることに疑いの目を向けることが必要であると思う。

特定の誰かでなく皆んなを思う気持ち

日頃から、自分の言動などを注意していくことが大切だと思いました。もっと社会のことをもっと考えていくことも大切だと思います。

日本人の考え方の多くが、偏ったものが多かったり、周りに合わせてしまったりして、誰かと違うということを恥じらってしまう方が多いように感じます。よって、自分自身も偏った意見を多くもっているということを自覚してもらうことがまずはじめに必要だと考えます。ダイバーシティの意味だけを学んでも『へー、そうなんだ』と思わせないことが必要だと思います。

普通、当たり前だと思うことは人によってそれぞれ違うため、それらを受け入れられる寛容な社会の構築が必要だと思う。

偏見をなくす運動（キャンペーン）

偏見を持たずに行動する

変革に向けた署名活動

交流会の設置

ボランティア活動などによる交流

多様性についての講習会を行う

募金に近いような、少しの気遣い

幼い頃から多様性に触れ、偏見を作らず成長すること。他には海外などに行って視野を広げ、自分の世界の狭さに気づくこと。

様々な価値観を持つ人(海外の方、異なる宗教)との交流の機会を増やすことで多様性に触れ合えることで、ダイバーシティ社会の実現が可能になると考える。

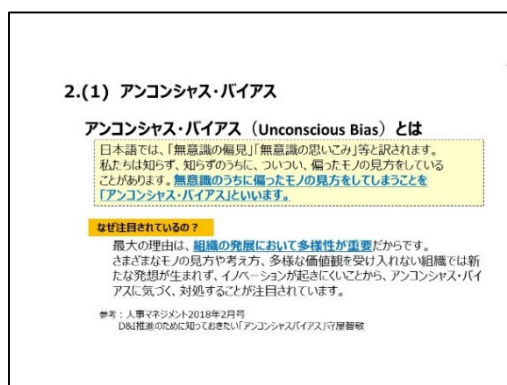
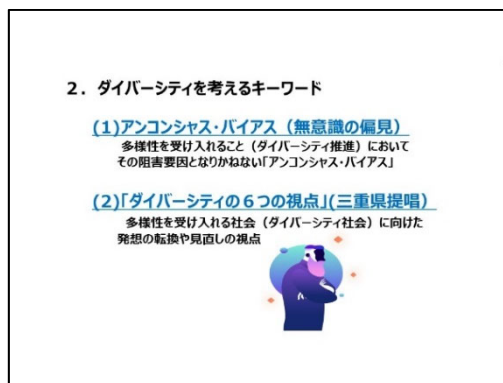
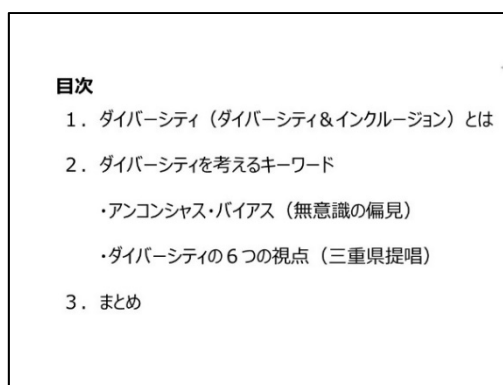
理解力

4 ダイバーシティ教材

【教材の概要】

パワーポイントで教材を作成することで、その他のテキスト等を必要とせず、本教材のみで研修等を行えるようにした。

内容は、ダイバーシティ及びダイバーシティ&インクルージョンやダイバーシティ社会の考え方、三重県のめざすダイバーシティ社会について説明したうえで、ダイバーシティを考えるキーワードとして「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」と、三重県が提唱する「ダイバーシティの6つの視点」を紹介するものとなっている。



5 情報発信

本事業において実施した取組を発信するため、高等教育コンソーシアムみえのホームページ内受託事業専用ページにて、本事業に関する情報を随時発信した。

The screenshot shows the homepage of the Higher Education Consortium Mie. The header includes the title '高等教育コンソーシアムみえ' and navigation links for 'COC+事業', '交通アクセス', and 'お問い合わせ'. Below the header is a menu with categories like '高等教育コンソーシアムみえについて', '事業内容', '受託事業', 'イベント・行事', and '単位互換制度'. The main content area features a news article titled '四日市大学でダイバーシティに関する授業を行いました！'. The article text describes a lecture on diversity held at Shizuoka University on July 14th, led by Professor Takahashi Takahiro. It mentions that the lecture was part of a series of activities to promote diversity within the consortium, and that the lecture was well-received by students. The article also includes a photo of the lecture and a link to the full article.

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針〜ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

7月14日（火）は、四日市大学にて、小林慶太郎教授の「マイノリティ政策」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。冒険小林先生からコロナ禍対策を行ったうえで、授業が進められ、LGBTなどのマイノリティに対する社会やマスメディアの扱い方が、様々な問題を生んでいることの説明があり、身近な事例や、学生への質疑を通じて、課題解決に向けた一人ひとりができることを考えました。授業の最後には、その中で、国や自治体もこの課題に取り組みを進めているという紹介があり、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取り組みの説明が県庁ダイバーシティ社会推進課の天香孝俊さんよりありました。

今後他の県内高等教育機関でも実施していきます。

The photos show a lecturer at a podium, a lecturer at a chalkboard, and a lecturer interacting with students in a lecture hall.

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0714/>

高等教育コンソーシアムみえについて	事業内容	受託事業	イベント・行事	単位互換制度
-------------------	------	------	---------	--------

鈴鹿大学でダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

8月3日（月）は、鈴鹿大学の川又教授（こども教育学部）の「社会学」の第13回目授業において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。資料（写真右）と解説動画の一部をオンデマンドで配信し、一部はライブ授業（Google Meet）で実施しました。

授業の冒頭で、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取り組みについて、県庁ダイバーシティ社会推進課の中郷氏から動画配信による説明がありました。

その後、多様な社会について、色覚に関するカラーユニバーサルデザインの考え方が語られました（写真左上はチョークの紹介）。

さらに、性のあり方を指す用語として、LGBTにおける、性指向を示すLGBと性自認を示すTを分けて考えるSOGI（性指向、性自認）が提唱されてきていること、LGBTである当事者にカミングアウトされ「気にしないでいいよ」と答える間違いなどの説明がありました。

ライブ授業後、Meetの受講者（写真左下）から「欧米では同性婚が認められているのに日本ではなぜ認められていないのか？」「未就学児時代に感じる性別違和とはどのようなものか？」など、授業の説明をさらに詳しく聞きたいという質問もありました。

性の多様性を理解して支援する人アライ（ALLY）に育まれるような社会の実現について、受講生はそれぞれ考えることができたようです。

ダイバーシティについての授業は引き続き県内高等教育機関で実施していきます。



<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0803/>

三重短期大学でダイバーシティをテーマとした講義を行いました！

三重短期大学では、長友薫輝教授（生活科学科）が担当する以下の授業で、ダイバーシティをテーマとした講義を行いました。

2020年8月12日（水）には「社会福祉論Ⅰ」第8講の講義にて、ダイバーシティを題材とした内容を提供し、受講生にレポート提出やアンケート回答に協力いただきました。

コロナ禍のため、音声とレジュメ・資料を活用したオンデマンド型授業となっており、三重県ダイバーシティ社会推進課の方々に、事前に資料解説の音声を収録して頂き開催しました。

「社会福祉論Ⅰ」では、ご協力頂いた音声と解説資料を受講してもらい、「ダイバーシティとは？」という概念の解説、そして「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」、三重県が提唱している「ダイバーシティの6つの視点」などについて学習しました。その上で、「ダイバーシティみえ推進方針」に記載されている「考えを変える」「行動を変える」「仕組みを変える」という3つの柱について講義を進めました。

社会福祉の視点では、様々な人々の存在を認めること、そしてなぜマイノリティといわれる人々が作り出されるのか、という社会の構造に関心を持って臨むことが重要となります。多様性を反映する社会をどうやってつくっていくのか、多様性が反映される制度や仕組みをどのようにデザインして変えていくのかを考えることが重要であることに言及しました。

基準や価値判断の軸をどこに置かによって、必ず私たちはどこかで何らかのマイノリティとなることについても理解を促しました。

受講生71名から得たアンケート結果（詳細は別紙の通り）からはダイバーシティについての理解が「深まった」「どちらかといえば深まった」と回答した学生が97%と概ね好評でした。さらに「人の多様性を大事にした行動をしようと思うか？」と質問した項目では、「思った」80%、「どちらかといえば思った」20%と計100%となり、受講生全員に行動変容を促す内容となったことが窺えます。感想を記した自由記入欄でも、多くの受講生がコメントを寄せており、ダイバーシティに関するテーマが刺激となったことがわかります。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇学館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽商船高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) [教職員の方へ](#) [一般の方へ](#)

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0812/>

三重大学でダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

10月14日(水)は、三重大学の谷口智雅特任教授(人文学部)の教養教育科目である「環境地理学B」の一年生を中心とした学生44名に対して、ダイバーシティに関する授業を行いました。

コロナの影響により、対面での講義ではなく、Zoomによるオンラインで実施しました。

さらに、10月19日(月)には、人文学部文化学科の2年生以上の15名の学生が受講する「自然環境論B」でも、同じくZoomによるオンラインでの授業で行っていただきました。

最初に、谷口先生からダイバーシティと三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取り組みについて簡単な説明がされました。その後、アジアの大都市における水環境と生物の多様性について、多様な生活空間を創造するために、個々が何をしたらよいか、何をすべきか話をされました。関連して、ESD(持続可能な発展のための教育)、SDGs(持続可能な開発目標)にも触れられました。最後に、東庁ダイバーシティ社会推進課の動画配信が行われました。

学生たちはダイバーシティについての考え方を学ぶことができたようです。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) > [事業内容](#) > [受託事業](#) > [イベント・行事](#) > [単位互換制度](#)

参加機関

> [三重県](#)
 > [三重大学](#) > [四日市大学](#) > [皇学館大学](#) > [鈴鹿大学](#)
 > [鈴鹿医療科学大学](#) > [三重県立看護大学](#) > [四日市看護医療大学](#)
 > [鈴鹿大学短期大学部](#) > [三重短期大学](#) > [高田短期大学](#) > [ユマニテク短期大学](#)
 > [鈴鹿工業高等専門学校](#) > [鳥羽商船高等専門学校](#) > [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

> [学生の方へ](#) > [教職員の方へ](#) > [一般の方へ](#)

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1014-19/>

四日市看護医療大学でダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

11月2日（月）は、四日市看護医療大学で、非常勤講師を務める四日市大学の松井真理子教授の「ジェンダー論」の1コマとして、看護学科及び臨床検査学科の一年生84名に対して、「ダイバーシティ社会」と題する講義を行っていただきました。

コロナの影響により、対面での講義ではなく、オンデマンド動画による形式での実施となりました。

三重県庁ダイバーシティ社会推進課制作の動画の視聴後、これを基に、ジェンダーの観点からのダイバーシティの意義、ダイバーシティ社会と男女共同参画社会の関係などが説明されました。特に、ジェンダーの観点からのダイバーシティ社会のあり方として「ウーマノミクス」を取り上げ、生産者及び消費者の2つの立場から、女性の活躍が経済発展においてきわめて重要な役割を果たしていることを、いきいきとした女性の活動事例とともに紹介されました。

ジェンダーとダイバーシティとの関係についてSDGsにも触れ、最後はダイバーシティに関するアンケートを行いました。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇学館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽商船高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) [教職員の方へ](#) [一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市南貝町1577（三重大学内）
 電話：059-231-9902 F A X：059-231-2754

皇學館大学で第1回ダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

11月10日（火）は、皇學館大学の深草正博教授（教育学部）の授業である「日本伝統文化教育論」にて、教員を目指す学生約250名に対して、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

冒頭、三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課男女共同参画班 柳本主任より、三重県におけるダイバーシティの取組の説明が行われ、身近な事例をふまえて、ダイバーシティに関する考え方を学生は学びました。

その後の深草先生の授業では、文化のダイバーシティという話題から、人類の歴史やその発展の中でも、様々な多様性があり、世界のそれぞれの文化における優劣は存在しないという説明がありました。あわせて、グローバル化は多様性の尊重と他者への理解を推進するものであると説明があり、その重要性を説かれました。また、日本の地域における多様な文化、風習、方言などの説明についても、学生たちは興味深く耳を傾けており、ダイバーシティの考え方を学ぶことが出来たようです。

次回は、皇學館大学の卒業生である、花園大学の南先生による「ダイバーシティ&インクルージョン」の授業が行われます。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇學館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽商船高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1110/>

四日市大学でダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針〜ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

11月13日（金）は、四日市大学で、全学部共通科目である「人権論」の1コマとして、総合政策学部の松井真理子教授が170名の学生に対して「ダイバーシティ社会」と題する講義を行っていただきました。

コロナの影響により、対面での講義ではなく、オンデマンド動画による形式での実施となりました。この講義は全15回の人権論の第7回にあたり、8回以降に予定されている、障害がある人、子ども、外国人などさまざまな「マイノリティの人権」の総論的な位置づけとされました。

三重県庁ダイバーシティ社会推進課制作の動画を視聴後、マイノリティの多様性の尊重が新たな力を生み出すことについて、女性の視点を生かした優れた商品開発、外国人のための「やさしい日本語」が子どもや高齢者とのコミュニケーションにも生かせること、障害者スポーツはあらゆる人が共に楽しめることなど、いくつかの事例をあげて説明されました。SDGsにも触れ、あらゆる人を包摂する社会づくりの重要性が強調されました。

最後にダイバーシティに関するアンケートも行いました。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) > [事業内容](#) > [受託事業](#) > [イベント・行事](#) > [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) > [四日市大学](#) > [皇學館大学](#) > [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) > [三重県立看護大学](#) > [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) > [三重短期大学](#) > [高田短期大学](#) > [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) > [鳥羽商船高等専門学校](#) > [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) > [教職員の方へ](#) > [一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市東真町1577（三島大管内）
 電話：059-231-9902 F.A.X：059-231-2354

皇學館大学で第2回ダイバーシティに関する授業を行いました！

11月17日（火）は、皇學館大学の深草教授の「日本伝統文化教育論」の授業においてゲストスピーカーに皇學館大学の卒業生で現在京都の花園大学で教鞭をとる南泰代先生をお招きして教員を目指す学生約250名に対して、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

南先生の授業では、①SDGs ②ダイバーシティとインクルージョン ③少子高齢化 ④女性の働き方 ⑤保育環境の整備 ⑥LGBT ⑦精神障害 ⑧手話で挨拶と盛り沢山のテーマで話をさせていただきました。

中でも少子化による女性の社会進出、働き方に必要不可欠となる保育環境の整備について様々な調査を基に日本の現状や抱える課題について力を込めて話をされました。また少子高齢化に伴い働き手不足を補う外国人就労者の増大や非正規社員の増加による貧困家庭の増加についてもデータを使って丁寧に説明されました。

そしてLGBTに関しては最新の調査によるとその理解度は格段に向上していること、そしてそのような人が側にいたら若い人ほど親身に接するというデータを示しながら本日授業を受けている将来教員を目指す多くの学生に優しく接して欲しいと呼びかけておられました。

最後に南先生が過去に警学校で教員をしていた時に習ったという手話で学生たちに簡単な挨拶の仕方を教えて頂き学生たちは初めての経験に戸惑いながらも仲間同士で真剣に手話で挨拶を交わしていました。

学生たちは南先生による様々なダイバーシティに関する話を興味深く耳を傾けダイバーシティの考え方を学ぶことが出来たようです。



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#)
[事業内容](#)
[受託事業](#)
[イベント・行事](#)
[単位互換制度](#)

参加機関

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1117/>

三重短期大学でダイバーシティをテーマとした講義を行いました！

三重短期大学では、長友薫輝教授（生活科学科）が担当する以下の授業で、ダイバーシティをテーマとした講義を行いました。

2020年11月18日（水）には「社会保障論Ⅱ」第7講の講義において、ダイバーシティを題材とした内容を提供し、受講生にレポート提出やアンケート回答に協力をいただきました。

コロナ禍のため、音声とレジュメ・資料を活用したオンデマンド型授業となっており、三重県ダイバーシティ社会推進課の方々に、事前に資料解説の音声を収録して頂き開催しました。

「社会保障論Ⅱ」においては、コロナ禍において「感染症と多様性」と題して講義を行いました。

体調不良や発熱があっても、無理をして仕事に行かなければならない社会は感染症に大変弱いといえます。「感染したかもしれない」と容易に言える社会こそ、感染症を防ぐことができます。常に自己責任の対応が迫られる、自業を要請されるとパッシングを受ける、といった社会は感染を抑えることが難しくなります。

私たちがどのような雰囲気を持った社会を醸成していくのか試されており、同調圧力が高い社会（世間）だからこそ、雰囲気醸成も課題にして、歴史的な反省を活かす必要があります。

できるだけ他人と違った行動を取り、一斉に何かをするようなことを避けて、仕事や生活をするのが感染症対策として有効。つまり、多様性が発揮される社会は感染症対策につながります。

主にこのような講義をする中で、同調圧力が高い社会から転換し、多様性が発揮される社会の形成へと向かうことが重要であり、注目されるものとして、多様性に関する三重県の取り組みを紹介しました（事前に資料提供を頂きました）。

受講生27名には、三重県のダイバーシティに関する主な取り組み一覧の中から、どの活動に関心を持ったのかを挙げてもらいました。農林水産連携、LGBT等相談事業、障害者スポーツ推進事業など、学生の関心は多岐にわたっており、「このようにたくさんの事業を県が展開していることを知るきっかけとなりました」という声ばかりでした。

講義において三重県の取り組みを紹介することで、ダイバーシティ社会の形成に関して重要な、若年層の理解を深め、行動変容を促すことができると確信した次第です。



メニュー

- [➤ 高等教育コンソーシアムみえについて](#)
- [➤ 事業内容](#)
- [➤ 受託事業](#)
- [➤ イベント・行事](#)
- [➤ 単位互換制度](#)

参加機関

- [➤ 三重県](#)
- [➤ 三重大学](#) [➤ 四日市大学](#) [➤ 皇学館大学](#) [➤ 鈴鹿大学](#)
- [➤ 鈴鹿医療科学大学](#) [➤ 三重県立看護大学](#) [➤ 四日市看護医療大学](#)
- [➤ 鈴鹿大学短期大学部](#) [➤ 三重短期大学](#) [➤ 高田短期大学](#) [➤ ユマニテック短期大学](#)
- [➤ 鈴鹿工業高等専門学校](#) [➤ 鳥羽商船高等専門学校](#) [➤ 近畿大学工業高等専門学校](#)

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1118/>

四日市大学で12/19（土）ダイバーシティ公開講座を開催します。

2020年12月19日（土）四日市大学にて「ダイバーシティ公開講座」を開催します。
 現在三重県が取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、コンソーシアムみえ所属の構成員の学生にダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を展開中です。
 当日は、基調講演に認定NPO法人虹色ダイバーシティ理事長 村木真紀氏をお迎えします。
 また、討論会では、地方大学から考えるLGBT～これからどうする？どう変える？～を行います。
 奮ってご参加ください。実施方法は、オンライン開催（zoomに・ウェビナー）を予定しています。

公開講座チラシ

 チラシはこちらからダウンロードできます[311KB]



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇学館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽商船高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) [教職員の方へ](#) [一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市東員町豊町1577（三島大学内）
 電話：059-231-9902 F.A.X：059-231-2354

三重大学でフレテみえより講師を招き、ダイバーシティに関する授業を行いました！

12月9日（水）人文学部谷口特任教授の環境地理学Bの授業で、三重県男女共同参画センター「フレテみえ」より、荻原所長を招きダイバーシティに関する特別授業を行っていただきました。

講義の冒頭フレテみえの紹介動画を学生は視聴して、フレテみえへの理解を深めました。

その後ダイバーシティについて、LGBTへの理解や、性の多様性等である、SOGI（ソギ/ソジ）について説明がありました。

今回の講義では、男女共同参画を主な題材として、女性の社会進出の状況や日本における実態、男女の格差問題、これからの日本が増え直面する超高齢化社会に対する様々な問題点など、学生に興味を持たせる問いかけを交えながらの講義が繰り広げられました。

今回は三重大学教養教育2号館3階の地誌学第一資料室からのオンライン授業でしたが、Zoomのチャット機能を活用した双方向の意見交換も活発で、学生に考えさせ、主体的に学ぶ講義を行っていただきました。

本日の講義では、学生に将来のライフプランを考えてもらうことや、社会人になってから、感じる男女共同参画の実態などが盛り込まれており、荻原所長からは、「これらの様々な課題や実情を知ることが、大学を卒業して、社会人になるときに直面することが多く、学生の皆さんにとっては、まだ先の話かも知れません。しかし色々な考え方や知識を知っておくことは、自分自身の視野や選択肢を広げることになるので、是非知っておいてほしい。」と呼びかけがあり、学生に様々な知見や刺激を与えていただく講義となりました。

三重大学においては、2021年1月20日（水）の同授業で3回目のダイバーシティに関する授業を展開します。講師は、高等教育コンソーシアムみえの田中コーディネーターが担当する予定です。



<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1209/>

四日市大学でダイバーシティ公開講座を実施しました

2020年12月19日、四日市大学「ダイバーシティ公開講座」をオンライン形式で実施しました。

日時：12月19日（土）13:30-15:30

Zoomウェビナーによるオンライン開催

第1部 基調講演「LGBT視点から職場と社会を変える」

認定NPO法人虹色ダイバーシティ 理事長 村木真紀氏

第2部 討論会

地方大学から考えるLGBT ～これからどうする？ どう変える？

村木真紀氏、小林慶太郎四日市大学副学長

四日市大学のホームページより

<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/news/2020/20201221.html>



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇学館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽高給高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) [教職員の方へ](#) [一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市東真町1577（三農大学内）
 電話：059-231-9902 F A X：059-231-2354

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1219/>

四日市大学でダイバーシティに関する3回目の授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、昨年度に引き続き、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針〜ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

12月21日（月）は、四日市大学で、松井真理子教授の「ジェンダー論」の1コマとして、1,2年生中心の97名に対して、「ダイバーシティ社会」と題する講義を行っていただきました。

11月13日（金）の同教授の「人権論」での授業に続き2回目です（四日市大学では、7月の授業も含め計3回）。

今回もコロナの影響により、オンデマンド動画による形式での実施となりました。

三重県庁ダイバーシティ社会推進課制作の動画の視聴後、これを基に、「ジェンダーとダイバーシティ」をテーマに、ダイバーシティの意義、ダイバーシティ社会と男女共同参画社会の関係などが説明されました。

特に、ジェンダーの観点からのダイバーシティ社会のあり方として「ウーマノミクス」を取り上げ、生産者と消費者の2つの立場から、女性の活躍が経済発展に果たしている重要性を、いきいきとした女性の活動事例とともに紹介されました。

SDGsにおけるジェンダーとダイバーシティにも言及し、だれ一人取り残さない社会と経済こそが持続可能とする、世界の行動目標の意義を強調されました。

受講者は、三重県が制作したダイバーシティに関するオンラインアンケートも行いました。



メニュー

[➤ 高等教育コンソーシアムみえについて](#) [➤ 事業内容](#) [➤ 受託事業](#) [➤ イベント・行事](#) [➤ 単位互換制度](#)

参加機関

[➤ 三重県](#)
[➤ 三重大学](#) [➤ 四日市大学](#) [➤ 皇學館大学](#) [➤ 鈴鹿大学](#)
[➤ 鈴鹿医療科学大学](#) [➤ 三重県立看護大学](#) [➤ 四日市看護医療大学](#)
[➤ 鈴鹿大学短期大学部](#) [➤ 三重短期大学](#) [➤ 高田短期大学](#) [➤ コマニテック短期大学](#)
[➤ 鈴鹿工業高等専門学校](#) [➤ 鳥羽商船高等専門学校](#) [➤ 近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[➤ 学生の方へ](#) [➤ 教職員の方へ](#) [➤ 一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市東真町1577（三重大学内）
 電話：059-231-9902 F A X：059-231-2354

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity1221/>

鈴鹿大学でダイバーシティに関する授業を行いました！

高等教育コンソーシアムみえでは、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいる「ダイバーシティみえ推進方針〜ともに輝く（きらり）、多様な社会へ」の方針のもと、授業や公開講座を行い、ダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業を実施しています。

1月12日（火）は、鈴鹿大学の川又教授（こども教育学部）「教職観論」の第13回目授業で、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました（写真左上）。この授業は職業教諭を目指す1年生向けの科目です。新型コロナウイルス感染症拡大の対策で、学生と教職員以外の入構が制限され、三重県におけるダイバーシティ社会推進に向けた取り組み紹介は配布資料と動画配信で行いました（写真右上）。

その後、学校現場における多様性のうち、性・色覚・障がい・外国につながる子という4テーマが解説されました。

性の多様性は、社会の動向や文科省通知等が説明され、2017年の県内養護教諭調査ですでに4分の1以上が、マイノリティ対応経験ありだったことなど共有しました。

色覚の多様性では、タイプ別やカラーユニバーサルデザインの展開が紹介されました（写真左下）。

インクルーシブ教育の実態や法制度、県内の日本語指導などの事例も説明されました。

クイズを使ったクイズや意識調査も行いました（写真右下）。

「県や市で行う外国人への日本語指導が魅力的」「自分の何気ない一言でも、それで相手を傷つけることもあると改めて感じた」「障害は個人の内ではなく個人と社会との間にあるという言葉が印象的でした」などの感想があり、受講生は多様性に関する学びをしっかりと深めることができました。



メニュー

[➤ 高等教育コンソーシアムみえについて](#)
[➤ 事業内容](#)
[➤ 受託事業](#)
[➤ イベント・行事](#)
[➤ 単位互換制度](#)

参加機関

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0112/>

三重大学で、コンソーシアムみえの田中コーディネーターによるダイバーシティに関する授業を行いました！

1月20日（水）人文学部谷口特任教授の環境地理学Bの授業で、コンソーシアムみえの田中真コーディネーターからダイバーシティに関する特別授業を行っていただきました。講義の冒頭高等教育コンソーシアムみえの説明があり、41名の受講生たちはコンソーシアムみえへの理解を深めました。

今回が同授業内で、3回目のダイバーシティの最終講義となり、キャリアプランとダイバーシティに重点を置いた授業を行っていただきました。日本の人口減少や少子高齢化、それに伴う女性活躍状況について説明があり、昨今徐々に、女性の活躍推進が叫ばれ制度も少しずつ整う状況の中で、自身のご経験から、管理職や役員に積極登用を考えた際に、その本人の意欲の向上も欠かすことができないと提言されました。「管理職や役員等で仕事をするには、決定権や裁量が増え、やりたいことができるようになる」ので、積極的に挑戦して欲しいと訴えられました。

また、グローバル人材が今後求められており、三重大学の卒業生で様々な活躍をされている先輩方の紹介がありました。その中で、「海外に行き、現地で学ぶことはとても良い経験になるので、学生のうちに海外に行き異文化に触れ学んでほしい」と提言があり、ダイバーシティとキャリアデザインという観点から、「現代は様々な仕事があり、働き方も多様化し様々な生き方が許容されている。生き方に正解不正解はないので、自分で考え納得いくキャリアデザインを描き、実現して欲しい。」と学生に訴えられました。学生たちは、ダイバーシティとそして自分自身のキャリアプランについて考える良い機会となりました。





メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#)
[事業内容](#)
[受託事業](#)
[イベント・行事](#)
[単位互換制度](#)

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0120/>

四日市大学がダイバーシティ報告書とパネルを作成しました！

四日市大学が「ダイバーシティ報告書」を発行しました。また、「四日市大学のダイバーシティとSDGs」パネルを制作しましたので、ご紹介いたします。

詳しくはこちら↓(四日市大学ホームページへのリンクです)をご覧ください。

- 「ダイバーシティ報告書」の発行
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/news/2021/20210129.html>
- 「四日市大学のダイバーシティとSDGs」パネルを制作
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/news/2021/20210203.html>



メニュー

[高等教育コンソーシアムみえについて](#) [事業内容](#) [受託事業](#) [イベント・行事](#) [単位互換制度](#)

参加機関

[三重県](#)
[三重大学](#) [四日市大学](#) [皇学館大学](#) [鈴鹿大学](#)
[鈴鹿医療科学大学](#) [三重県立看護大学](#) [四日市看護医療大学](#)
[鈴鹿大学短期大学部](#) [三重短期大学](#) [高田短期大学](#) [ユマニテク短期大学](#)
[鈴鹿工業高等専門学校](#) [鳥羽商船高等専門学校](#) [近畿大学工業高等専門学校](#)

各種担当者の方へ

[学生の方へ](#) [教職員の方へ](#) [一般の方へ](#)

高等教育コンソーシアムみえ

高等教育コンソーシアムみえ 事務局
 〒514-8507 三重県津市津島町原町1577 (三重大学内)
 電話：059-231-9902 F A X：059-231-2354

<http://conso-mie.jp/events/2020diversity0209/>

新ホームページにおける情報発信について

令和2年度高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運營業務に基づいて、ホームページによる情報発信を実施しました。現行ホームページで情報発信するとともに、新規ホームページでは、令和元年～2年までの実績を記載するとともに、さらに情報発信が充実できるように対応しています。



ダイバーシティ事業について、トップページにバナー使ってこれまでの事業を紹介します。



業務目的は、各年度の取組も報告が可能となりました。業務の目的など過去2年間の取組をまとめて実績として紹介。

The screenshot shows the website header with the logo '高等教育コンソーシアムみえ' and navigation links. The main content area has a title '高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務'. Below this, there are two columns. The left column is titled '●業務の目的' and contains text explaining diversity and the consortium's goals. The right column is titled '●地域貢献活動' and lists several activities.

●業務の目的

ダイバーシティは、日本語に訳すと「多様性」です。性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など、誰もが一人ひとり違った個性や能力を持っています。いろいろな出会いは世界を広げ、さまざまな視点が新しいことを生み出します。

多様性はプラスであり、職場や地域の中などで多様な人びとが自分らしく参画・活躍できるダイバーシティ社会が求められています。その一方で、県民の皆さんのダイバーシティという言葉の認知度は低く、ダイバーシティ社会の推進にあたり、県民の皆さんの行動につなげていくためには、理解、共感を促していくことが重要です。

三重県では、平成29年12月に県民の皆さんとともにダイバーシティ社会の実現をめざし取り組んでいく決意表明として「ダイバーシティみえ推進方針」を定め、多様な社会づくりを策定し、その考えを県民の皆さんに理解していただくための取組を進めています。

●地域貢献活動

- 高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務
- みえまちキャンパス
- 南伊勢可事前復興計画策定事業・鈴鹿市人口減少対策調査研究事業
- 大学生の結婚等意識調査及び大学のライフプラン教育促進事業

The screenshot shows the same website page but with different sections highlighted. The 'Annual Activities' section is titled '●各年度毎の活動' and lists '令和2年度の活動' and '令和元年度の活動'. The 'Latest News' section is titled '●最新のお知らせ' and lists several news items, with the first one highlighted in red.

●各年度毎の活動

- 令和2年度の活動
- 令和元年度の活動

●最新のお知らせ

- 2021年2月9日 **ダイバーシティ** 四日市大学がダイバーシティ報告書とパネルを作成しました！
- 2021年1月20日 **ダイバーシティ** 三重大学で、コンソーシアムみえの田中コーディネーターによるダイバーシティに関する授業を行いました！
- 2021年1月12日 **ダイバーシティ** 鈴鹿大学でダイバーシティに関する授業を行いました！
- 2020年12月21日 **ダイバーシティ** 四日市大学でダイバーシティに関する3回目の授業を行いました！
- 2020年12月19日 **ダイバーシティ** 四日市大学でダイバーシティ公開講座を実施しました

各年度の報告書の掲載が可能。

高等教育
コンソーシアムみえ
Higher Education Consortium Mie

NEWS・イベント コンソーシアムみえとは 事業内容 地域貢献活動 単位互換 三重創生ファンタジスタ

HOME / 地域貢献活動 / 高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務 / 令和元年度の活動

令和元年度の活動

- 各高等教育機関の講座の内容

高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務 報告書

- 地域貢献活動

- 高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務
- みえまちキャンパス
- 南伊勢町事前復興計画策定事業・鈴鹿市人口減少対策調査研究事業
- 大学生の結核等意識調査及び大学のライフプラン教育促進事業業務

Copyright © 2020 The Consortium of Higher Education in Mie All Rights Reserved.

授業を実施した日時で都度業務実績を報告。

四日市大学がダイバーシティ報告書とパネルを作成しました！

2021年2月9日 ダイバーシティ

四日市大学が「ダイバーシティ報告書」を発行しました。また、「四日市大学のダイバーシティとSDGs」パネルを制作しましたので、ご紹介いたします。

詳しくはこちら↓（四日市大学ホームページへのリンクです）をご覧ください。

- 「ダイバーシティ報告書」の発行
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/news/2021/20210129.html>
- 「四日市大学のダイバーシティとSDGs」パネルを制作
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/news/2021/20210203.html>

前の記事
高等教育コンソーシアムみえ News Vol.16 を発行しました
2021年1月31日

次の記事
令和3年度高等教育コンソーシアムみえ単位互換臨修生を募集します
2021年2月19日

- カテゴリー

- お知らせ
- ダイバーシティ
- FD/SD
- みえまちキャンパス

- アーカイブ

- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年

Copyright © 2020 The Consortium of Higher Education in Mie All Rights Reserved.

スマートフォン版にも対応

